



投資家向けプレゼンテーション

アフリカ開発銀行

2018年6月



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP

日本語版は、読者への便宜を図る目的で正文の英語版より和訳して提供されたものです。
適宜、英語版を参照していただくようお願いいたします。

目次

1	アフリカ開発銀行グループの概要	3
2	アフリカ開発銀行の財務状況	24
3	資本市場における活動	34
4	付録 :	43
	財務諸表	44
	グリーンボンド枠組み	46
	ソーシャルボンド枠組み	60
	アフリカン・エコノミック・アウトルック	72
	よくある質問	78

1. アフリカ開発銀行グループの概要



アフリカ随一の開発金融機関

AfDBグループ：共通の目標を掲げる、法的かつ財政的に独立した3つの機関で構成



アフリカ開発銀行（AfDB）

- 1964年設立
- 80の加盟国
- 授権資本：950億米ドル
- 資本市場から資金を調達
- バーゼルⅢに基づくリスクウェイトは0%
- バーゼルⅢに基づくレベルは1



アフリカ開発基金（ADF）

- 1972年設立、譲許的融資を行う機関
- 域外加盟国27カ国と域内加盟国4カ国によるファイナンス
- 引受額：420億米ドル
- 低所得国が対象
- 3年ごとに資金補充



ナイジェリア信託基金（NTF）

- ナイジェリアが1976年に設立
- 貧困国が対象
- 2018年まで存続
- 資金総額：2億4,200万米ドル

ガバナンスと監督

総務会

- 最高意思決定機関
- AfDB加盟国の財務大臣および国際協力大臣で構成

理事会

- 総務会が選出する20名の常任理事で構成
- アフリカ開発銀行の一般業務を監督

総務会、理事会のいずれの決議も、3分の2の多数か、加盟国の要求によって70%の多数が必要。

アフリカにおける貧困削減と生活環境改善に注力

55年にわたるアフリカ開発パートナーシップ

米州

米国	6.623%
カナダ	3.876%
ブラジル	0.332%
アルゼンチン	0.090%

アフリカの加盟国：60%
アフリカ以外の加盟国：40%

G-7諸国株式保有率：28%

ヨーロッパ

ドイツ	4.157%
フランス	3.773%
イタリア	2.438%
イギリス	1.774%
スウェーデン	1.578%
スイス	1.473%
デンマーク	1.182%
ノルウェー	1.181%
スペイン	1.070%
オランダ	0.879%
ベルギー	0.642%
フィンランド	0.491%
オーストリア	0.449%
ポルトガル	0.240%
ルクセンブルグ	0.202%

アフリカ

ナイジェリア	9.332%	南スーダン	0.412%
エジプト	5.622%	ギニア	0.403%
南アフリカ	5.055%	ブルキナファソ	0.399%
アルジェリア	4.243%	ナミビア	0.345%
コートジボワール	3.738%	スーダン	0.309%
モロッコ	3.608%	シエラレオネ	0.289%
リビア	2.652%	マラウイ	0.244%
ガーナ	2.140%	ブルンジ	0.238%
ジンバブエ	1.965%	ニジェール	0.237%
エチオピア	1.580%	ベナン	0.193%
ケニア	1.440%	リベリア	0.192%
チュニジア	1.406%	トーゴ	0.157%
コンゴ民主共和国	1.293%	ガンビア	0.152%
ザンビア	1.177%	赤道ギニア	0.146%
アンゴラ	1.168%	ルワンダ	0.132%
カメルーン	1.082%	スワジランド	0.114%
ボツワナ	1.077%	カーヴオベルデ	0.070%
セネガル	1.047%	サントメ・プリンシペ	0.068%
ガボン	0.997%	チャド	0.066%
タンザニア	0.762%	レソト	0.057%
モーリシャス	0.653%	モーリタニア	0.057%
マダガスカル	0.649%	中央アフリカ共和国	0.042%
モザンビーク	0.622%	エリトリア	0.031%
コンゴ	0.454%	ソマリア	0.030%
ウガンダ	0.450%	セーシェル	0.028%
マリ	0.433%	ギニアビサウ	0.021%

中東

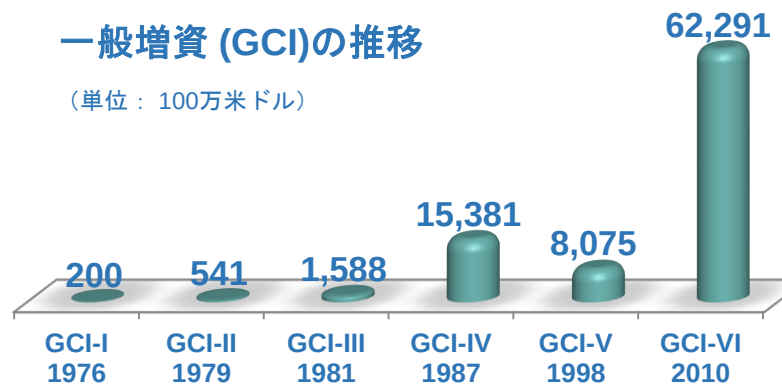
クウェート	0.451%
トルコ	0.359%
サウジアラビア	0.194%

アジア

日本	5.518%
中国	1.183%
韓国	0.483%
インド	0.258%

一般増資 (GCI) の推移

(単位：100万米ドル)



(2017年12月31日現在)

ニーズに応じた効果的なパートナー

AfDBソブリン事業 AfDBの融資適格となる 中所得国17カ国

基準：

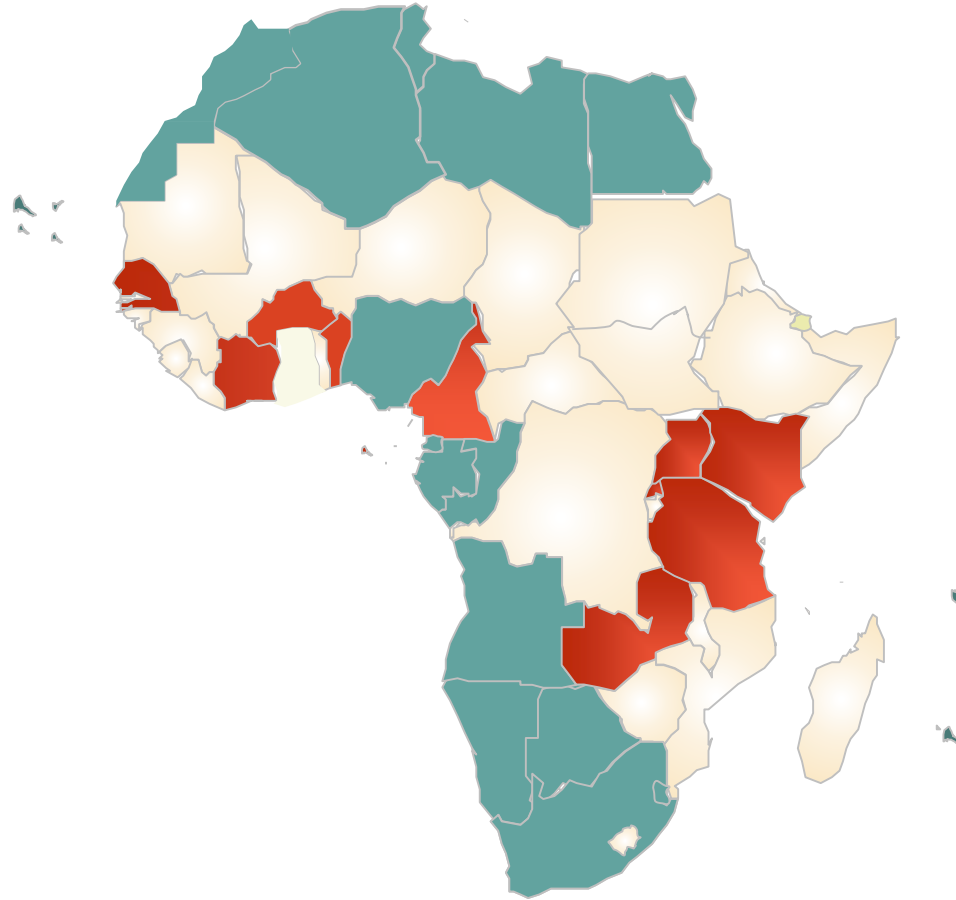
- 1人当たりGNI (国民総所得)
- 国の信用力

AfDB・ADFのいずれの融資に も適格の10カ国

- ブレンド国 4カ国
(カメルーン、ケニア、セネガル、
ザンビア)
- 2014年の信用ポリシー改定により
AfDB融資適格国となった6カ国
(ベナン、ブルキナファソ、コート
ジボワール、ルワンダ、タンザニ
ア、ウガンダ)

ADF譲許的融資

ADFのみの融資・無償資金供与の
適格となる低所得国27カ国



付加価値と開発成果の評価： 主要指標

- 雇用創出
- 政府歳入
- 財務収益
- 外貨収入

民間セクター事業 付加価値と開発成果のある 有望企業や多国籍プロジェクト

- 直接融資
- クレジットライン
- 資本参加
- 保証

エンクレーブ融資

ADFの融資適格国で実施される自
律的で輸出志向型のプロジェクト

健全なマクロ経済状況と持続可能な債務プロファイルを有する
国々に対し金融サービスを選択的に提供しています

ハイファイブズ(High 5s) : アフリカ変革を強力に加速化

持続可能な開発目標(SDGs)は、アフリカで達成できなければグローバルで達成できない

最優先分野



ハイファイブズ (High 5s) は、アフリカが国連のSDGsの90%近くを達成することに寄与し、また、アフリカ連合 (AU) のアジェンダ2063と本質的にリンクしている



インクルーシブな成長を実現し、アフリカのグリーン成長への段階的移行を支援するため、AfDBの10ヵ年戦略を遂行

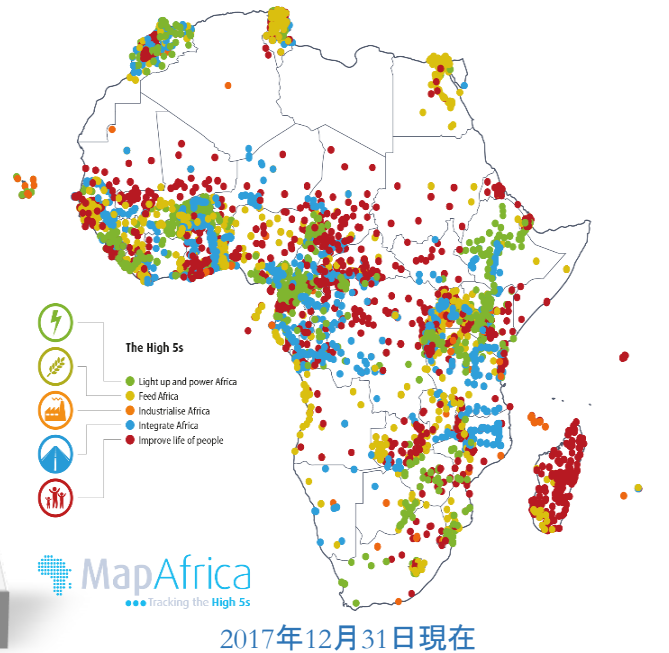
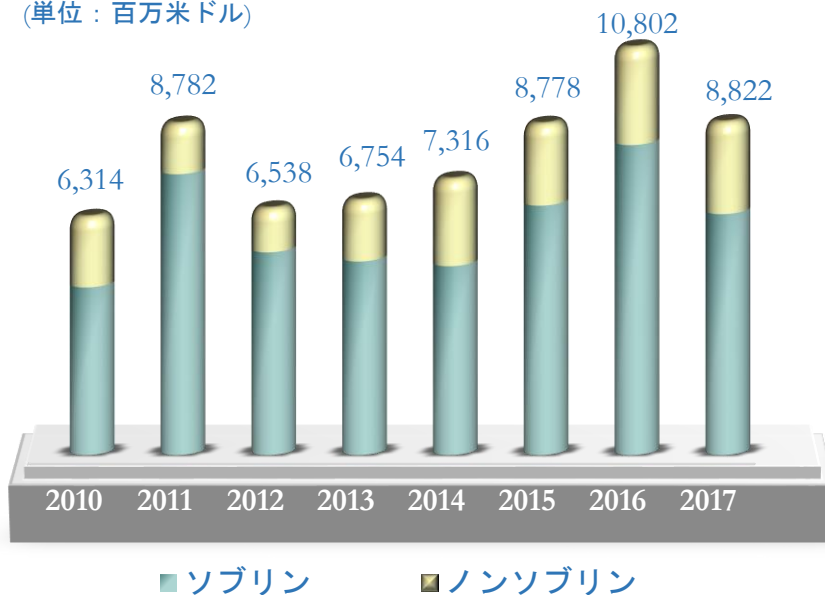
アフリカにおける明確で不可欠なミッション

当行グループポートフォリオ：520億米ドル

2015－2017年に終了したプロジェクトによって
もたらされた開発効果

当行グループの承認額

(単位：百万米ドル)



2010年以降で、1000案件以上の
融資が行われた

2017年にはHigh 5sに沿った249案件が承認された

8500万人が農業セクターの改善による恩恵を
享受

460 MWの電力 容量を創出
うち33%が再生可能エネルギー

2,500キロの道路建設・改修

21万の自営業者、小規模事業者の金融アクセ
スを改善

830万人が水衛生アクセスの改善を享受

150万人分の新規雇用を創出

二酸化炭素（CO₂）を157,000トン削減

1400万人が交通アクセスの改善により恩恵を
享受



アフリカの電力の潜在性を引き出す

社会経済開発の 問題点

アフリカの人口
の51%しか電気へ
のアクセスがない

農村地域の70%
近くは電気が
通っていない

6億人のアフリカ
人がエネルギー
貧困に苦しんで
いる

毎年何十万人も
の人々が料理に
薪ストーブ*を使
うことによって
死亡している

人口の3割ほどし
かクリーン調理*
へのアクセスが
ない

電力不足と高額
なエネルギー料
金のコストは年
間GDPの2-4%に
相当

*屋内等換気が不十分な場所で薪を使って調理をすることで、煙により空気が汚染され、死に至る健康被害が出ていることが多くの国で社会問題になっています。

低炭素成長に向けた道のり



豊かなエネルギー資源、十二分な化石燃料埋蔵量、更に豊富な再生可能エネルギー潜在能力



10TWの潜在的太陽光発電能力



110,000MWの潜在的風力発電能力
現在の4100MWから、2030年までに80,000MWに設備容量を拡大



350,000MWの潜在的水力発電能力
合計17,000MWの発電容量をもたらすプロジェクトが現在進行中



15,000MWの潜在的地熱発電能力
現在600MWの設備容量があり、うち96%がケニア



2017年に、アフリカの発電設備容量は176,000メガワット(MW)に達しました。これはドイツの設備容量の90%近くに相当します。

アフリカに光を。



エネルギー案件による変革の推進

カメルーン

ナハティガル水力発電プロジェクト
クリーンで、信頼でき、良心的な価格の電力発電

プロジェクト金額: 11億ユーロ

AfDB融資: 1億5000万ユーロ

目的: カメルーン南部にサナガ川の流れ込み式水力発電所（420MW）を建設

期待される成果:

- クリーンで、信頼でき、良心的な値段の電力
- カメルーンの発電能力を1/3増加し、継続的な電力需要の増加に応え、産業の拡大を支える
- 年間135万トンのCO₂削減
- 建設期間中1,500の短期雇用、その後30年の操業期間中75の正規雇用を創出



ナイジェリア・ニジェール・ブルキナファソ・ベナン

北部電力相互接続プロジェクト
西アフリカの電力システム統合を支援

プロジェクト金額: 7億3000万米ドル

AfDB融資: 1億6000万米ドル

目的: ナイジェリアからベナン、ニジェールを通りブルキナファソまでをつなぐ842 kmの送電線の設置

期待される成果:

- 4か国間の電力交換を年間330,000 MWhから1,350,000 MWhに拡大
- 年間243,000トンのCO₂排出を回避
- 10%～30%の電力コストの削減
- 294の農村地区に電気を通し、54万人が裨益

2017年に承認された案件により期待される主な成果

2017年の「アフリカの電化」に係る承認額は17億米ドルにのぼる

800,000の
電力接続により
380万人が
恩恵を受ける

再生可能エネルギーの
みから1,400 MWの追加
発電容量

年間320万トン
のCO₂排出が回
避

建設期間中に
9,000の
雇用創出

送電線2,700 km、
配電線4,300 kmの
敷設

気候変動: 最大の敵

気候変動の脅威に最も直面している10か国のうち、7か国がアフリカの国です
それにもかかわらず、アフリカは世界の気候資金の4%しか享受していません

深刻な気候リスク

異常気象の頻発

干ばつ、洪水、熱波

疾病、栄養不良

沿岸部地域に迫る
海面上昇の脅威

農業生産量の減少

漁業不振

エネルギー発電
への影響

水資源の減少

当行の第二次気候変動行動計画（2016-2020）

- 気候ファイナンスを3倍にし、貸付ポートフォリオの40%とする
- 2020までに気候変動の主流化とグリーン成長を全投資案件に盛り込む
- 世界の気候資金を更にアフリカに呼び込み、適応と緩和で折半する

2017年の気候ファイナンス関連の承認案件の総額は23億5000万米ドル

世界の気候ファンドとの連携



- ・ COP23で立ち上げたプラットフォームを通じたアフリカ諸国への支援
- ・ 長期的な気候変動対策の育成
- ・ 実施のための手段の動員
- ・ 調整、アドボカシー、パートナーシップの確保

アフリカNDC（国別貢献）ハブ



- ・ マルチドナーファンド
- ・ 各国が自主的に決定する貢献に応じた、各国の気候ファイナンスへのアクセスの拡大
- ・ 8案件（330万米ドル）が承認され、26か国以上、20以上のパイプラインプロジェクトが裨益

アフリカ気候変動基金



- ・ マルチドナー信託基金
- ・ アフリカ諸国の気候変動の影響への耐久性を高める支援
- ・ 気候・災害リスクマネジメントプロジェクトに2000万ユーロ、気候適応プログラムに1300万ユーロ

アフリカ開発のための気候特別基金



- ・ 多数国間基金
- ・ アフリカ諸国の水衛生のためのリソース探し、活用を支援
- ・ 水ガバナンス、必要な水の確保、水に関する知識の向上についてサポート

アフリカ水基金

アフリカに、気候変動に強く、低炭素でグリーンな経済成長を



緑の革命: アフリカに食料と繁栄を

アフリカは、農業開発において世界で最後のフロンティアです

世界の耕作可能な未耕作地の65%

最も肥沃な土地の25%

再生可能な水資源の10%

重点的な対応

雇用創出と
持続可能な生活

食料安全保障

現地生産可能な
食材の大量輸入
を削減

主な農業バ
リューチェーン
の頂点に立
つ

2017年には50案件（12億米ドル）を承認

乗り越えられる困難

- 低い生産性、不十分な生産技術
- 未成熟な農作物バリューチェーン
- 土地所有権問題、不十分な政策規制環境
- 深刻化する気候変動
- 資金調達できない
- 食料輸入への依存度が高く、消費されるカロリーの2/3が輸入。また、350億米ドルという莫大なコストがかかっている

2017年に立ち上げた5つの旗艦プログラム

アフリカの農業変 革のための技術

数百万の農家に実証
済の技術を提供する
ことで農業生産量を
拡大

収穫後損失防止と 農産加工

収穫後システムの効
率性改善

農業のための リーダーシップ

対話・アドボカシー・政策立
案において、政策立案者、専
門家、民間、コミュニティの
代表者を巻き込み、更にロッ
クフェラー財団の資金援助を
得て農業変革を実現

飢饉に「ノー」を

複数国での長引く干
ばつによる人道危機
に迅速にリーダー
シップをもって対応

アフリカサバンナ変 革イニシアティブ

2025年までに8か国
で200万ヘクタール
のサバンナ地域を開
墾

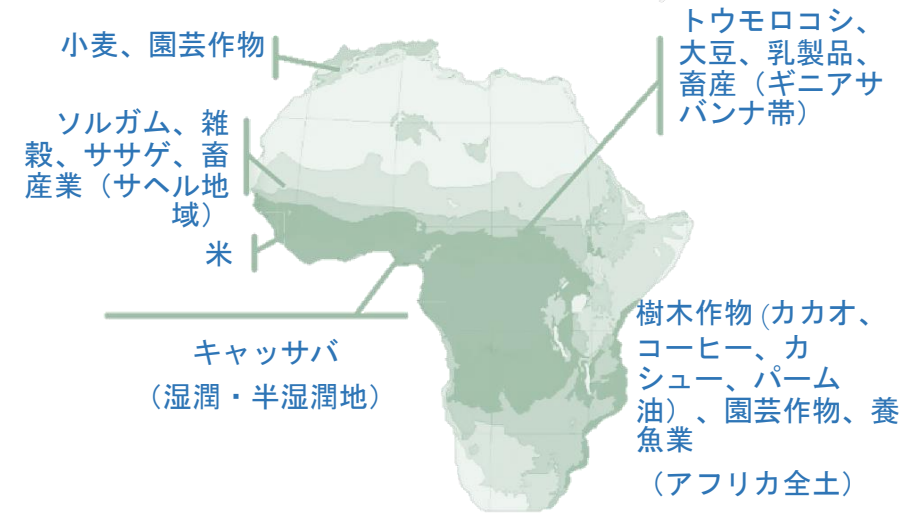


アフリカで農業を担うのは
ほとんどが、小作農であ
り、女性です



農業変革 - 未来に向けて

優先度の高い作物と生産に適した地域



2017年の開発インパクト（抜粋）

46,000ヘクタールの土地の水管理が改善

1,700トンの肥料、種子等を供給



ガボン

GRAINEプログラム
サポートプロジェクト
フェーズ I (PAPG1)

プロジェクト金額: 1億1600万ユーロ

AfDB融資: 9900万ユーロ

目的: 各州で農業開発地域を創設

期待される成果:

- 農業生産量を275,000トン増加（キャッサバ、料理用バナナ、トマト、唐辛子、ヤシの種）
- 商業操業による収入を二倍に
- 5,100以上の正規雇用と17,300以上の臨時雇用を創出



アンゴラ

カビンダ州農業バリューチェーン育成プロジェクト

プロジェクト金額: 1億2300万米ドル

AfDB融資: 1億100万米ドル

目的: 農業生産の改善と高付加価値化により食と栄養の安全を強化し、農家の収入を増加させる

期待される成果:

- 51,000人に裨益
- インフラ整備: 4地区に、道路191 km、電力供給網54 km、灌漑システム750ヘクタール、水供給のための掘削孔16か所、小学校、医療施設



ナミビア

農業メカニズム・種子プロジェクト

プロジェクト金額: 14億南アランド

AfDB融資: 10億南アランド

目的: 農業生産の拡大による主要穀物の輸入削減、雇用創出、農村地域の人々の生活の改善

期待される成果:

- トウモロコシやトウジンビエ*の生産量をそれぞれ47倍、40倍に拡大
- 穀物の年間輸入量を30%削減
- 約30万の農家が裨益
- 111,000の雇用創出

*西アフリカ等でよく栽培される穀物の一種



工業化 繁栄へのパスポート

戦略の柱

成功につながる工業政策の形成

インフラ・産業プロジェクトへの資金調達を促進

流動性の高い資本市場

中小企業育成の促進・推進

アフリカにおける戦略的パートナーシップの促進

アフリカ全土で効率的な産業クラスターの育成

アフリカの工業化戦略の遂行

- 政府に対し技術支援を行い、主要なPPPプロジェクトに資金を提供する
- GDPに作用するプログラムへのファンディングを増やす
- アフリカ企業の市場での資金調達を改善
- 持続可能な雇用を創出し、生産力を拡大
- 協調融資を増やし、民間投資を動員
- 2017年の承認額：12億米ドル
- アフリカ輸出入銀行に対し4億7300万米ドルを承認

マダガスカル経済競争力サポートプログラム－フェーズ1

AfDB融資: 4600万米ドル

目的: 経済特区の設置

期待される成果:

- 公共投資・民間投資の拡大
- 高付加価値化
- 実施フェーズにおける100,000の雇用創出

雇用創出、生産力拡大、持続的成長への貢献



今こそ工業化が必要

エチオピア – デルバ・ミドロック・セメント工場の生産力向上

2015年承認、2017年完了
プロジェクト金額: 3億5000万米ドル
AfDB融資: 5500万米ドル

達成された成果:

- 生産力が年間170万トンから1200万トンに増加したことにより、同国のセメントの需要を満たし、輸出が可能になった
- 740の正規雇用が創出された
- セメント価格が70%低下
- 地場建設業の活性化
- セメント工場に設置された5MWの発電所で作られたエネルギーの40%を地域に供給
- 地場中小企業向け学校、研修の提供
- 病院、保健施設の建設

世界で最も高い
都市化率

資源採掘業をリードするサービス業と製造業を擁する二番目に魅力的な投資先

2025年には世界で最も若い労働力

消費者市場と中間層の拡大。ほとんど未開拓の12億人の消費者市場

ギニア・ボケ – 世界最大の埋蔵量を誇るボーキサイトの生産力を拡大

プロジェクト金額: 14億米ドル
AfDB融資: 4億米ドル

目的: 政府の歳入、輸出の拡大、地場雇用創出

期待される成果:

- 年間1200万トンが産出され、ボーキサイトの主要産出国・輸出国としてのギニアの地位を確立する
- 建設中に3500、操業フェーズに350の雇用と400の委託業務を創出
- コンテナターミナルの整備により、交通を増やし地域間貿易と農業の活性化に貢献

着実に工業化を進めることが繁栄への鍵となる

民間セクターの重要性を認識

当行によるアフリカ域内貿易の推進のための施策

貿易金融プログラム

リスク・パティシペーション・アグリーメント

ソフト・コモディティ・ファシリティ

中小企業プログラム

中小企業に比較的低い金利で融資を行う金融機関へのクレジットライン

戦略の三本柱

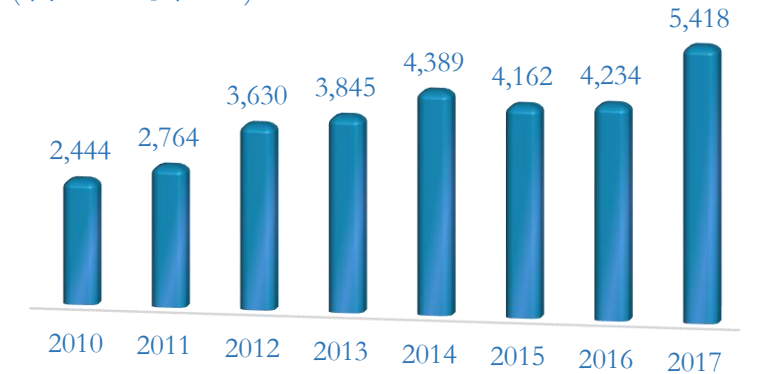
法規制環境の強化をサポートすることで投資・ビジネス環境を改善

社会経済インフラへのアクセスを拡大

資金繰り改善、バリューチェーンギャップや技術不足への対処による企業支援

アフリカ民間セクターの活動の拡大

(単位：100万米ドル)



■ ノンソブリン事業貸付残高

High 5sは、民間セクター主導で、公共セクターの力を得て実現されます。

アフリカ・インベストメント・フォーラム



アフリカ随一の投資市場

戦略的提携を活用し、アフリカへの民間投資を拡大

多分野にわたる取引プラットフォーム

- 当行や他の国際開発金融機関を結集し、大規模投資のリスクを軽減
- プロジェクト準備のためのファシリティーやツールの拡大
- 戦略的にアフリカへの投資を活用
- High 5アジェンダの実現に資するプロジェクトへの投資促進
- 共同投資プロジェクトやブレンド・ファイナンスの促進
- 効果的なリスク緩和商品の提供
- 政策・規制に係る諸問題への対処

2018年11月7-9日

南アフリカ・ヨハネスブルグ

- ・ 民間セクター: 銀行、保険会社、プライベートエクイティ、ベンチャーキャピタル、インパクト投資家、年金基金、プロジェクトディベロッパー
- ・ 政府: 国家元首、財務大臣、中銀総裁、政府系ファンド
- ・ 国際開発金融機関

資金ギャップを埋める

プロジェクト
準備

投資促進
機関投資家・非伝統
的投資家を呼び込む

パイプライン
開発

政策・規制環境
投資に優しい規制
作り

国際開発金融機関、輸出信用
機関、保険会社との共同保証
プラットフォームにより、大
規模な民間セクター投資のリ
スク軽減を図る



地域統合と連帯責任

地域開発・協力の拡大を通じた問題の解決

貿易が少ない

アフリカの貿易の内、地域内貿易が占めるのは14%のみ（アジアでは50%）。輸出は原産に偏っている

- インフラとICTの整備、貿易と投資、金融市場育成と統合
- 統合を深化させ、アフリカ内貿易を2045年までに約50%増加させる

交通の便が悪い

年間数十億米ドルの潜在的な貿易の可能性が失われている

- 貿易回廊の強化により、事業開発、雇用創出、モノ・サービス・ヒトの流動性改善を図る

コストが高い

市場が小さくばらばらであるため貿易コストが高く、他の発展途上地域に比べても輸送コストがかさむ

- 生産力が高く、より規模が大きく、魅力的で競争力の高い市場を創設

移動が制限されている

アライバルビザが取得できる国は25%のみであり、国境を越えた人の往来の妨げになっている

- ハードインフラの拡大とソフトインフラ改革を企図したアフリカ全体での取り組みを牽引
- よりオープンな国境管理政策でアフリカ内の移動を容易にする

54か国のうち16カ国が内陸国で、大半が人口密度が低く、インフラが未整備なことから越境が困難



アフリカ企業は、規模の経済によって競争力を高めることに悪戦苦闘している

統合の深化により、更なる民間投資誘致、地域市場・グローバルバリューチェーンへの関与の拡大につながる



アフリカ域内の結びつき強化に向けた融資

戦略の柱

交通の便を改善

- ウガンダ・ケニア回廊とケニア・エルドレットバイパスプロジェクト（2億5300万米ドル）により、東アフリカ共同体内の地域間貿易を促進
- ギニアとシエラレオネを結ぶ道路（コヤ・ファルモルヤ間）の再建（5400万米ドル）
- カメルーン・チャド間のロゴヌ川に架かる橋の建設（7800万米ドル）

金融・通信市場の統合

金融市場・証券取引所を強化し、開発により多くの資本が向けられるよう送金を促進する

貿易・投資を促進

- アンゴラとザンビアの両国で二重課税される小規模輸出入業者向けの簡略化された貿易枠組
- ザンビア・アンゴラ国境のジンベにワンストップボーダーポストを設置し、クロスボーダー取引を促進し、リージョナルバリューチェーンにおいて地場中小企業と大手会社を結びつけることで地場中小企業振興を図る

自由貿易地域

- モノ・サービスの単一市場、人や投資の移動の自由
- より大きな市場を約束するマイルストーンとして、当行が最前線で技術的・資金的サポートを提供

312キロメートル
13カ国で国境をまたがる道路の建設・修復

6億1500万米ドル
2017年の承認額



エール・コートジボワールの近代化・保有機材増加プロジェクト

プロジェクト金額: 2億5300万ユーロ
AfDB融資: 1億1500万ユーロ

期待される成果:

- 雇用拡大、貿易、観光、民間セクター開発の促進
- 新規航路開設
- 2026年までに輸送貨物が35%増え、旅客数が300万人から800万人に増える
- コストを下げ、運賃を下げる



人々の生活を変えることは、当行の中核業務です

エチオピア

One WASH National Programの
支援



プロジェクト金額: 5億米ドル
AfDB融資: 9700万米ドル

目的: アフリカの角での干ばつ被害を受けた農村地域における水の供給、衛生設備拡大

期待される成果:

- 300万人の生活環境を改善
- 雇用者数拡大
- 気候変動へのレジリエンス強化
- 8,000 の水道施設の建設、再建



チュニジア

「デジタルチュニジア2020」人間社会開発国家戦略計画

プロジェクト金額: 1億3500万ユーロ

AfDB融資: 7200万ユーロ

目的: 政府情報システム(e-finance, e-justice, e-local government等)と電子化がうまく機能するためのプラットフォームの構築

期待される成果:

- 中等教育におけるデジタル技術の使用が2016年の20%から2022年には26%まで拡大
- 5,000の雇用創出



セネガル

ダカル・ディアムニア
ディオ・ブレイズ・ジャー
ニュー空港間地域急行列車
(TER), フェーズ1 – 都市化

プロジェクト金額:

8億6700万ユーロ

AfDB融資: 1億8300万ユーロ

目的: ダカル・ブレイズ・ジャーニュー国際空港間の鉄道55キロ設置

期待される成果:

- 一日あたり乗客113,000人
- 交通機関利用客と周辺に住む350万人が裨益
- 2019年までに現在の108分から45分に移動時間が短縮
- プロジェクト完成によって337,000トンのCO₂排出を回避
- 75,000の雇用創出

若者のために生産性の高い仕事を創出。就労人口の増加によって経済成長を促す。

ジェンダー平等 社会経済的責務

綿畑から販売まで、織物・衣類
バリューチェーンの強化 -
Fashionomics



農家から調理人まで、アフリカ
の食料・料理バリューチェーン
の支援 - *FoodCuisine*



アフリカ開発銀行・アフリカ経済
委員会により、経済・社会・
政治においてどのように女性が
男性カウンターパートと競争し
ているかを計測するアフリカ・
ジェンダー・インデックスの立
ち上げ

オンラインのジェンダー
データポータルを開発

重点的アプローチ

女性の法的地位と所有
権

女性の経済エンパワ
メント

知識・能力育成

オペレーションを通じたジェンダーの主 流化

ジェンダー平等のインパクトに
応じてオペレーションを区分す
るジェンダー・マーカー・シス
テムを承認

地域ハブにジェンダー専門官
を配置し、案件組成から実施
期間までをサポート

プロジェクトでのジェンダー担
当者のためのツールキット・ガ
イドラインの策定

アフリカの女性のためのアフーマティブ・ファイナンス・アクション

- ジェンダーに基づく資金調達ギャップを補い、女性による起業への支援を拡大するパン・アフリカイニシアティブ
- 小規模農家から、女性が所有・経営する大会社まで、ビジネス界の様々な女性を対象
- ファイナンス、技術支援、環境整備の3つの柱に基づく



アフリカ・リーガル・サポート・ファシリティ(ALSF)による公平な和解交渉

ALSFは条約（2008年）により域内加盟国のために設置されました



ホスト機関：アフリカ開発銀行

メンバー：60

(53か国及び7国際機関)

不十分なリーガル能力、不適切な法定代理、ハゲタカファンドに係る訴訟、欠陥だらけの利権協定や投資契約からの保護を図る

インフラ、鉱業、エネルギー

合意書・契約交渉サポート
(2017年にALSF経由で署名)

- ギニア・シマンドゥ鉱業プロジェクト再編
- エチオピア・コルベッティ地熱プロジェクト
- ルワンダ・ブゲセラ空港

公的債務

ギニアビサウ vs 中国輸出入銀行－
債務再編アドバイザーサービス
(2017年署名)

- ✓ 中国輸出入銀行から提起された債権者訴訟対応につき政府を補佐
- ✓ 政府の訴訟外紛争処理を補助、和解・債務再編交渉の促進
- ✓ この結果、支払うべき負債額は5000万米ドルから500万米ドルに縮小され、ギニアビサウの年間予算の約22%の節減となった

コンゴ民主共和国 vs FG Hemisphere社－ハゲタカファンド訴訟（2013年判決）

- ✓ コンゴ（民）がハゲタカファンドによって8か国・地域で提起された訴訟請求での抗弁を補佐
- ✓ コンゴ（民）はニューヨーク及びパリの控訴裁判所で勝訴した
- ✓ ニューヨーク控訴裁判所での判決により、コンゴ（民）にとって1億米ドル以上の節減となった

農業

リベリア－ファイヤーストーン・ナチュラル・ラバー社
(2017年署名)

- ✓ ファイヤーストーン社はリベリアで最大の従業員数を擁する最大の輸出業者であり、8万人以上の生活を支えていた。同社は、ゴム農園、農林を経営し、発電所の建設を行い、従業員のために学校や病院のある120の居住コミュニティを整備していた。
- ✓ 介入する前、ファイヤーストーン社は操業停止し、従業員の解雇を検討していた
- ✓ ALSFの介入により、政府は雇用を守ることができ、税収入を確保することができた

協調融資とパートナーシップを通じた リソースのクラウドディングイン（誘発効果）

AFIF



日本



AGTF



AFD



韓国



22億ユーロ

AFIF（アフリカ投資
ファシリティ）：融
資・無償資金・技術
支援・株式投資を組
み合わせて変革をも
たらすプロジェクト
を支援する、欧州連
合との協調融資パー
トナーシップ

60億米ドル

Japan-Africa Energy
Initiativeを日本政府が
開始、アフリカのエネ
ルギー普及のための新
政策「ニューディー
ル」の支援に譲許的・
非譲許的融資を提供

20億米ドル

AGTF（アフリカ共同
成長基金）：インフ
ラ・運輸・エネ
ルギー・水関連のソブリ
ン・ノンソブリンプロ
ジェクトを支援する、
中国との協調融資ファ
シリティ

15億ユーロ

再生可能エネルギー・
気候変動・輸送・農業
に重点を置き、あらゆ
るセクターのプロジェ
クトを支援する、フラ
ンス開発庁(AFD)との
協調融資の契約

6億2千万米ドル

エネルギー・インフ
ラ・水・ICT・グリー
ン成長・農業・人間開
発を対象とするソブリ
ン事業へ融資を提供す
る、韓国輸出入銀行と
の協調融資の契約

2. アフリカ開発銀行の財務状況



財務情報の概要

(単位 : 100万米ドル)	2013	2014	2015	2016	2017
資産	32,335	33,251	35,152	39,963	46,392
融資	17,619	18,105	17,832	20,295	25,113
投資	9,372	10,637	11,629	14,237	16,408
借入金	19,939	20,828	22,794	27,753	33,005
資本	8,980	8,809	8,980	8,880	10,101
払込済資本 *	4,580	4,730	4,932	5,187	5,854
準備金	4,400	4,079	4,048	3,693	4,247
分配前所得	278	220	129	161	368
引受済資本	100,424	94,366	90,741	88,035	93,278

* 引受分累積為替換算調整額

注記 : データは毎年期末時点の為替レートでUA (IMFのSDR) からUSDへ換算

SDRUSD : 1.54000 (2013); 1.44881 (2014); 1.38573 (2015); 1.34433 (2016); 1.42413 (2017)

健全な財務状況でアフリカに貢献

FitchRatings

MOODY's

STANDARD
& POOR'S



Japan Credit Rating Agency, Ltd.

AAA（トリプルA）が再確認された。見通しは安定的

AAA格付けを
支える柱

強固な
自己資本

慎重な
財務・
リスク管理
ポリシー

流動性水準
が高い

優先債権者
ステータス

株主の強力
な支援

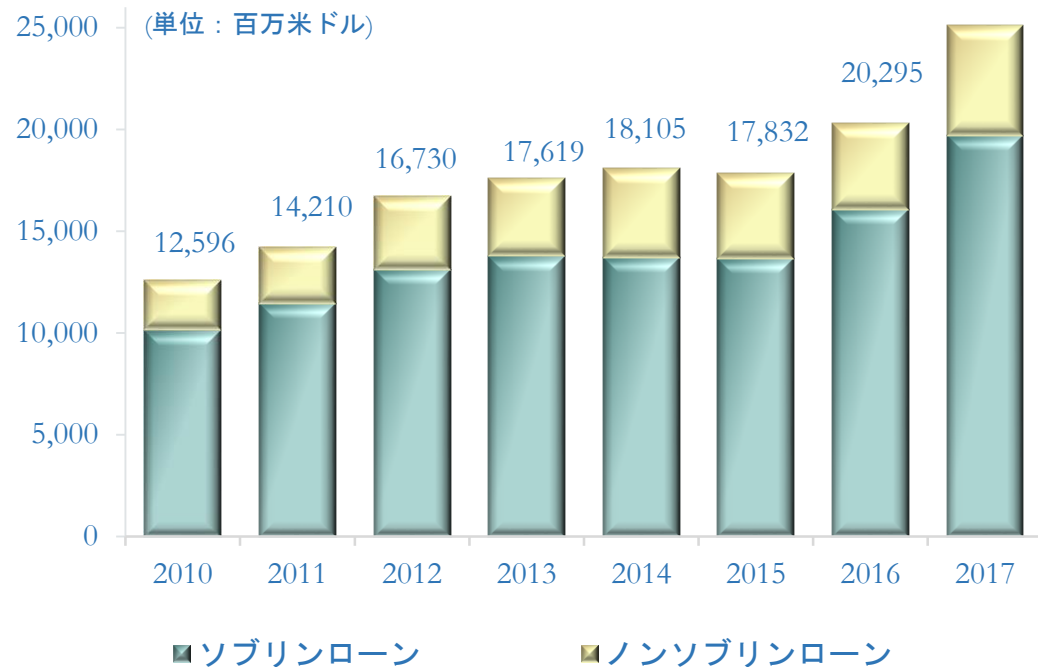
格付けに応じた慎重なリスクマネジメントポリシー



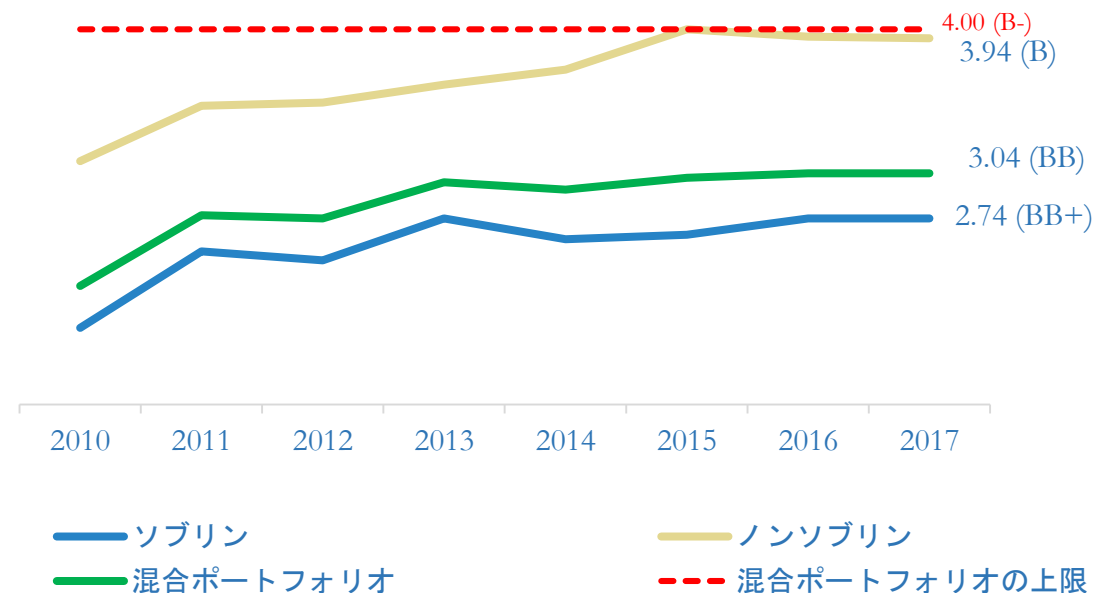
* 米ドル、ユーロ、日本円、英ポンド、中国元で構成

アフリカへの貸付に対し、明確に基準の定められたリスク選好度

貸付残高ポートフォリオ



ポートフォリオ信用プロファイル



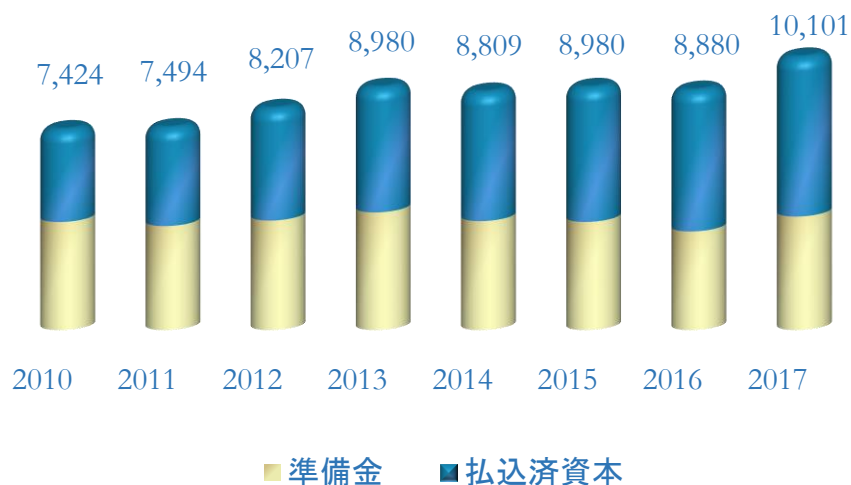
当行のリスク選好に係る声明

当行の混合貸付ポートフォリオの加重平均リスク格付ターゲットレンジは、BB+ とB-の間

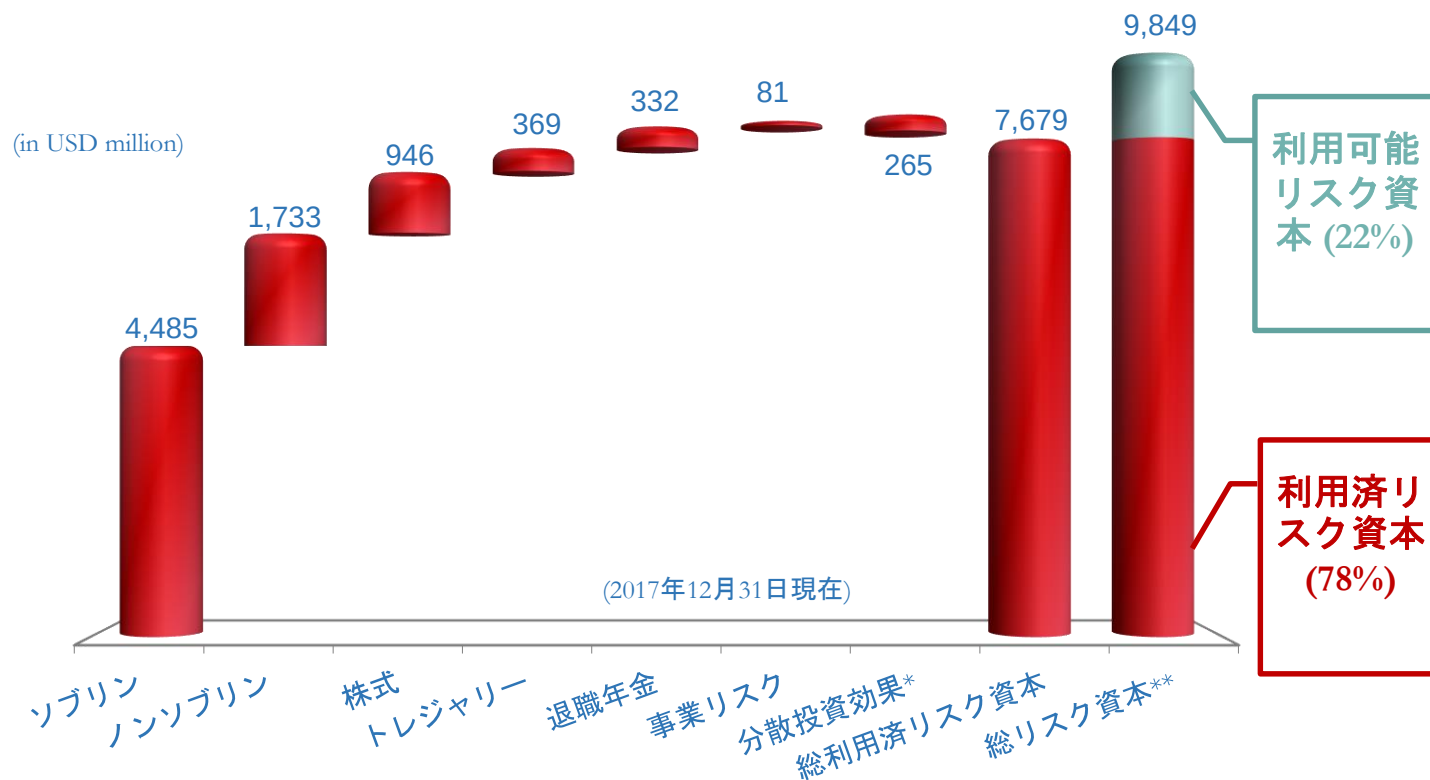
当行の使命を支える自己資本

継続中の資本金払込みと収入の準備金への振り
替えによりリスク資本を強化

(単位：百万米ドル)



当行の事業リスクはその総利用可能リスク資本の範囲内



*分散投資効果はリスク間の相関から生じる
**株式投資と借入の評価調整後

資本強化のため、2018～2026年に
新たに10億2400万米ドルの払込済
資本を見込む

開発に関するエク
スポージャーは資本
の73%にあたる

2015年のエクスポージャー交
換合意は、2017年のリスク資
本利用率に3.8%のプラスの影
響があった

ADF資金の民間セクター信
用補完ファシリティにより
リスク資本のベースが2017
年に1%増強

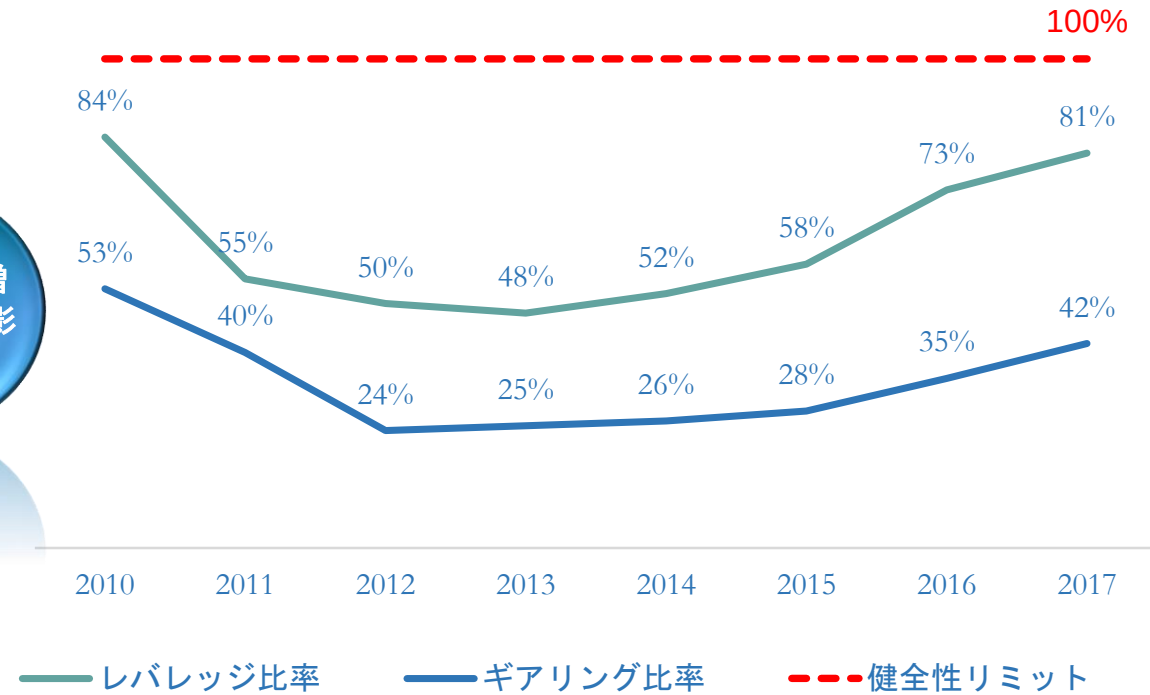
ステークホルダーを守るため、健全性レシオをモニタリング

法定閾値を下回る当行の主要な健全性レシオ

レバレッジ比率
借入総額を利用可能資本の
額内に制限*

第6回一般増
資による好影
響

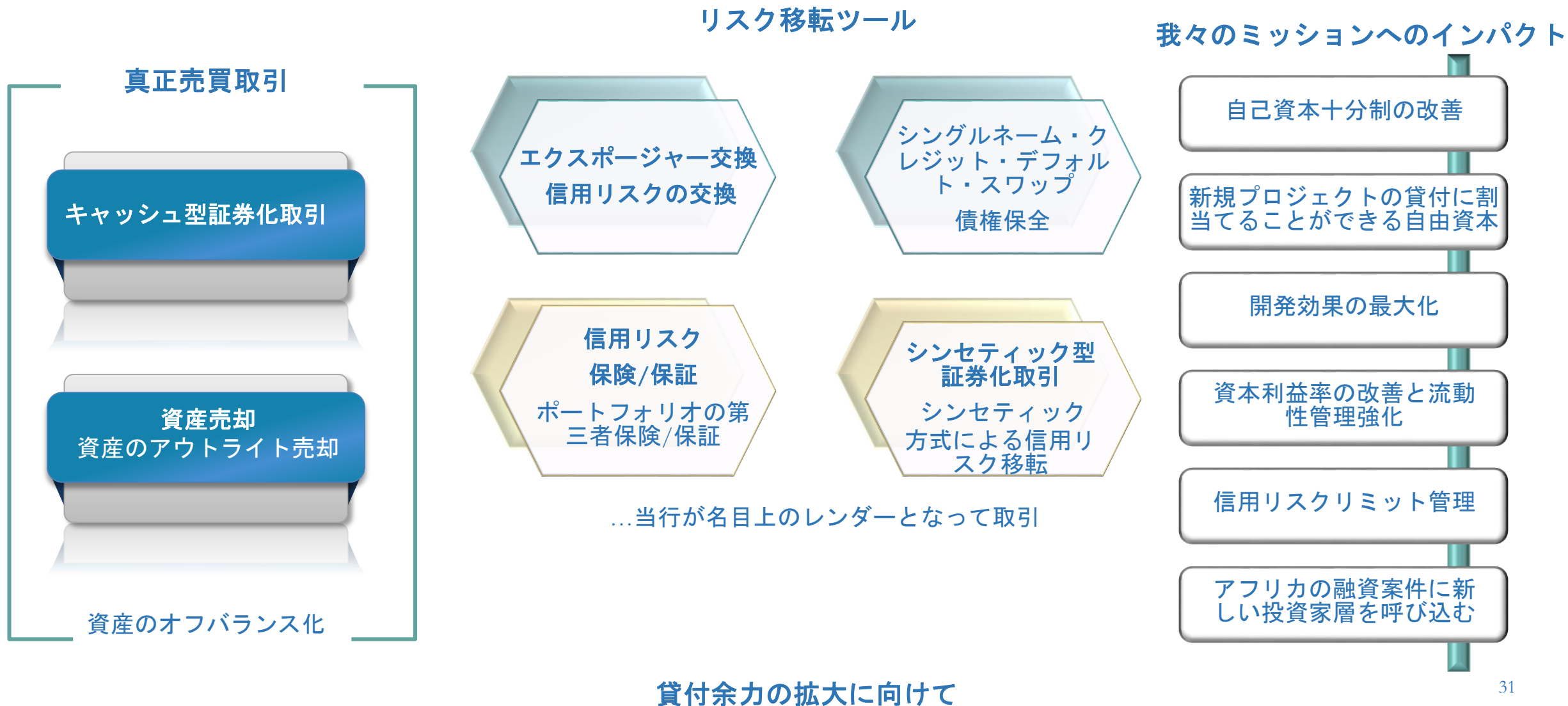
ギアリング比率
貸付総額を減損していない払込
資本・準備金・剰余金の合計額
以内に制限



328億米ドルの負債残高は410億米ドルの利用可能
資本総額によって完全にカバーできる

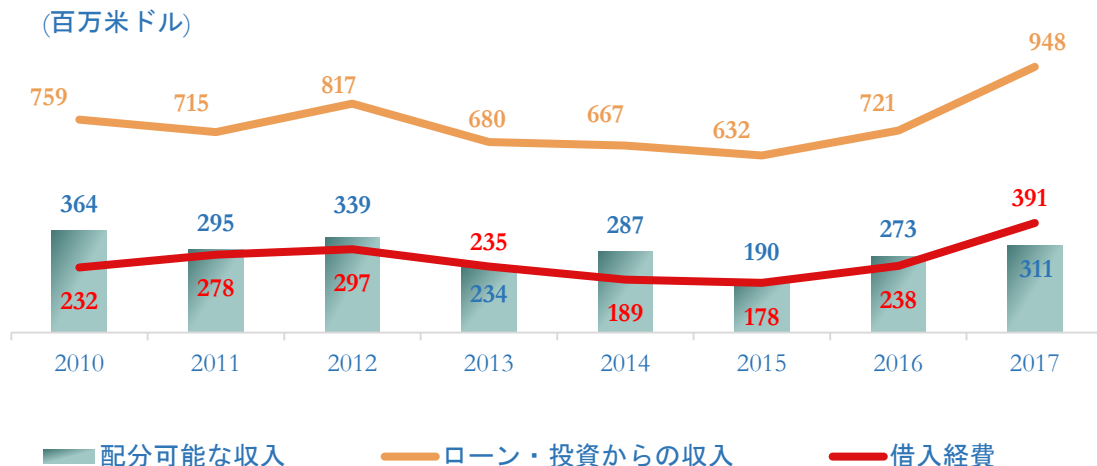
*利用可能資本 = 格付けがA-以上の加盟国の請求
払い資本、準備金、払込資金の合計

バランスシート最適化によりHigh 5s実現のために資本を利用



困難な環境下で活動を行う高収益機関

強固なパフォーマンス



2010年以降
で22億米ドルの収入

より多くの融資
承認と投資

2017年には記録的
なディスバースメ
ント額に達した

より大きな開発インパクトに向けた再投資

2017年には記録的な額の収入を準備金に移管し、ビジネス成長をサポート

配分	2010-2017	2017
準備金への配分	10億5000万米ドル	1億8900万米ドル (案)
主要な開発イニシアチブへの配分	11億6900万米ドル	1億2100万ドル (案)

アフリカ開発基金により
低所得国のニーズを
支援

コンゴ（民）に対する
債務救済措置－コンゴ
（民）の復興に向けた
努力を支援するための
延滞解消計画

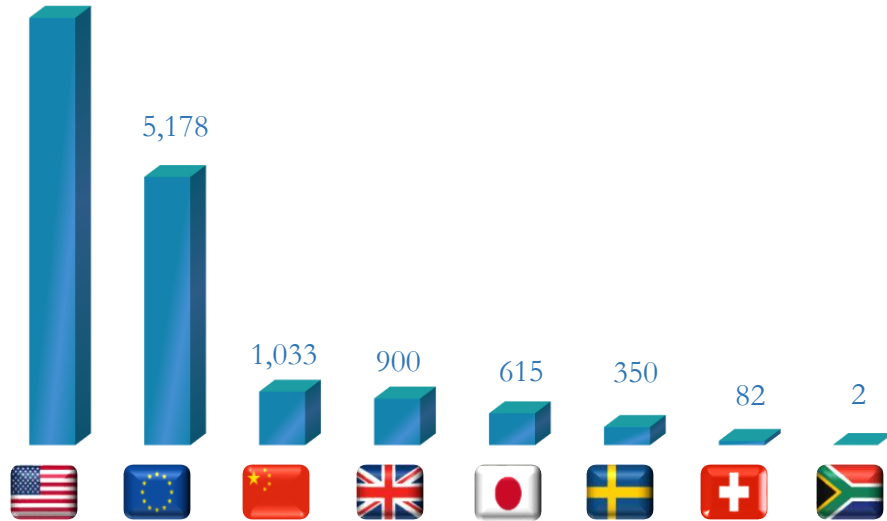
特別救済基金
想定外の災害被害を受
けた国への人道支援を
行う

中所得国技術支援基金
プロジェクト準備とパイ
プライン構築のための
リソースを提供

良好な流動性プロファイルを支える慎重な投資政策

164億米ドルの多通貨ポートフォリオ

8,247 (百万米ドル)



(2017年12月31日現在)

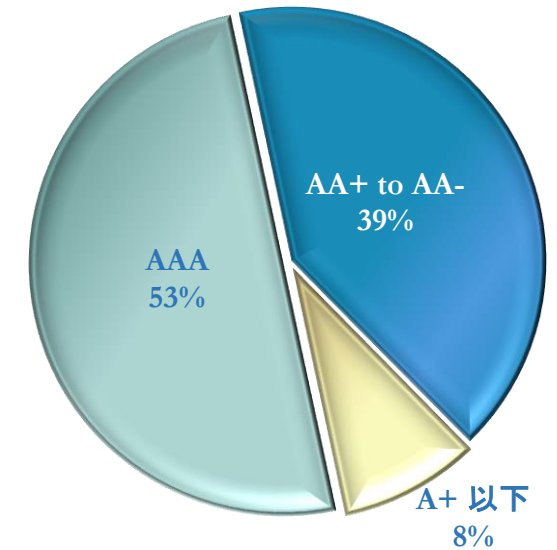
投資戦略

資本保全

流動性

リターン

高品質な投資



82.5%

(2017年12月31日現在)

13.4%

2.4%

1.6%

0.1%

スープラ・ソブリン・準ソブリン

マネーマーケット

* 資産担保証券 (Asset-Backed Securities)

短期的な流動性
ニーズに対応する
ため95億米ドルを
公正価格取引ポ
ートフォリオに留保

2つのトレジャ
リーサブポ
ートフォリオ

純利息マージンを安
定させるため68億米
ドルを償却原価ポ
ートフォリオに留保

3. 資本市場における活動



GlobalCapital

News & Data ▾ The Weekly Bank Profiles Special Reports Polls & Awards

SSA - SUPRANATIONALS & AGENCIES

AfDB impresses with sub-Libor dollar threes as swap spreads rise

The African Development Bank was awash with superlatives from SSA bankers watching on jealously as it printed a \$2bn March 2021 global through mid-swaps on Wednesday. The supranational — like other SSAs in dollars this week — benefited from widening swap spreads that some analysts believe have further to go.

By Craig McGlashan 04:30 PM

Leads **Bank of America Merrill Lynch, Barclays, BMO Capital Markets, Nomura** and **TD Securities** set the spread on the bond at minus 1bp when orders topped \$4bn (excluding those from the leads), with the book later closing at over \$4.25bn. Guidance was swaps ...

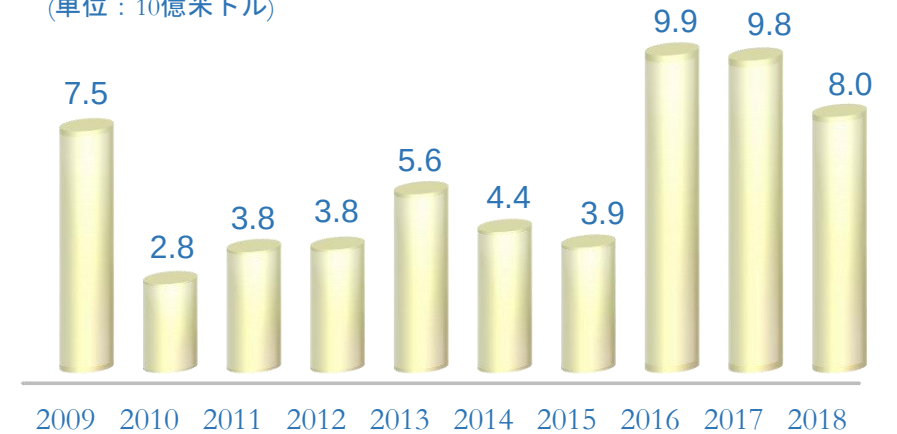
AAA格付をてこにアフリカの開発ニーズを満たす

グローバルな市場・通貨による多様な資金調達プロファイル



借入プログラム

(単位：10億米ドル)



流動性を備えたグローバルベンチマーク債の発行にて高い実績

社会的責任投資（SRI）を行う投資家のニーズに対応

投資家基盤をグローバルに深耕・拡大

アフリカの資本市場を振興

**STANDARD
& POOR'S**

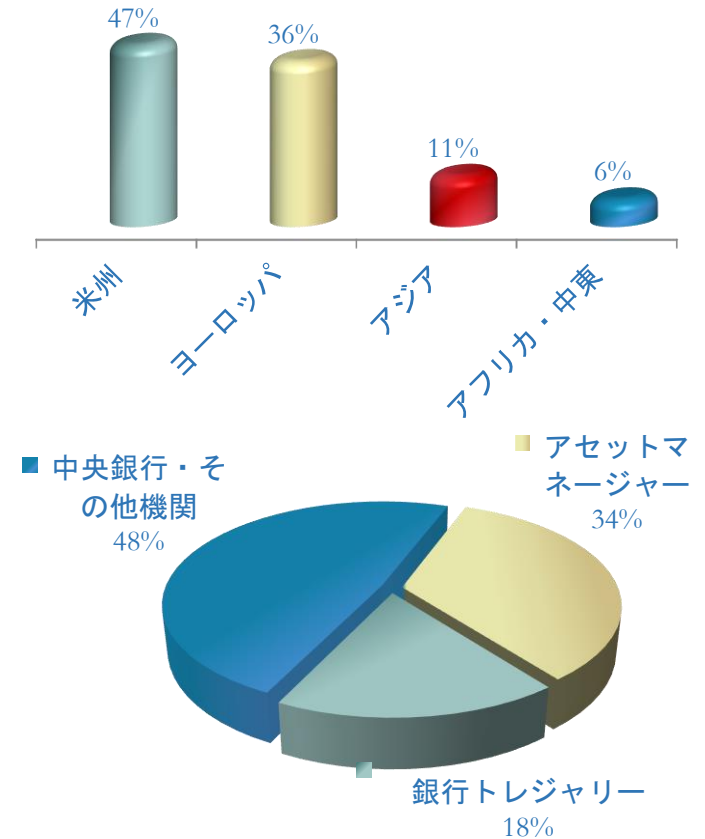
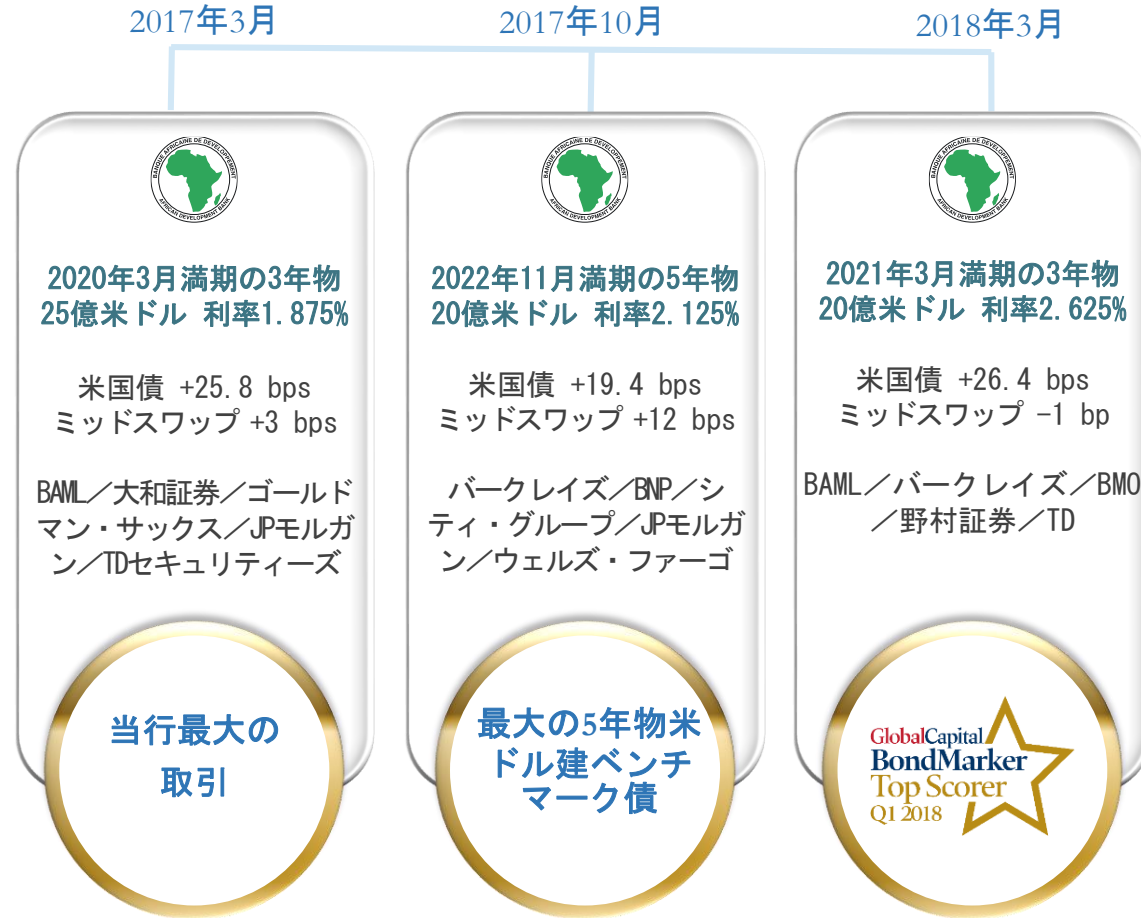
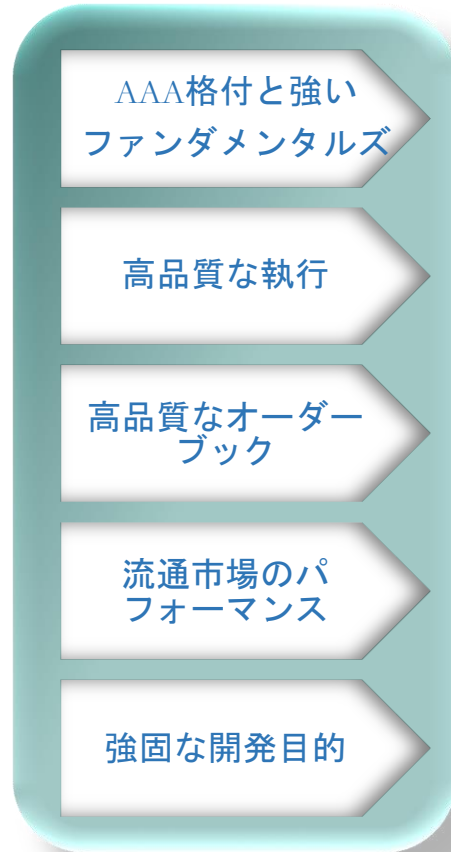
「AfDBの資金プロファイルは、株主基盤・通貨・償還時期の点で引き続き非常に多様である」 S&P、2017年7月

アフリカ大陸の裨益のため、競争力の高い資金レベルを呼び込み

米ドル建て高額ベンチマーク債により知名度が拡大

より流動性の高い債券発行体として
戦略的にリポジショニング

...当行の投資家基盤は深耕・拡大している

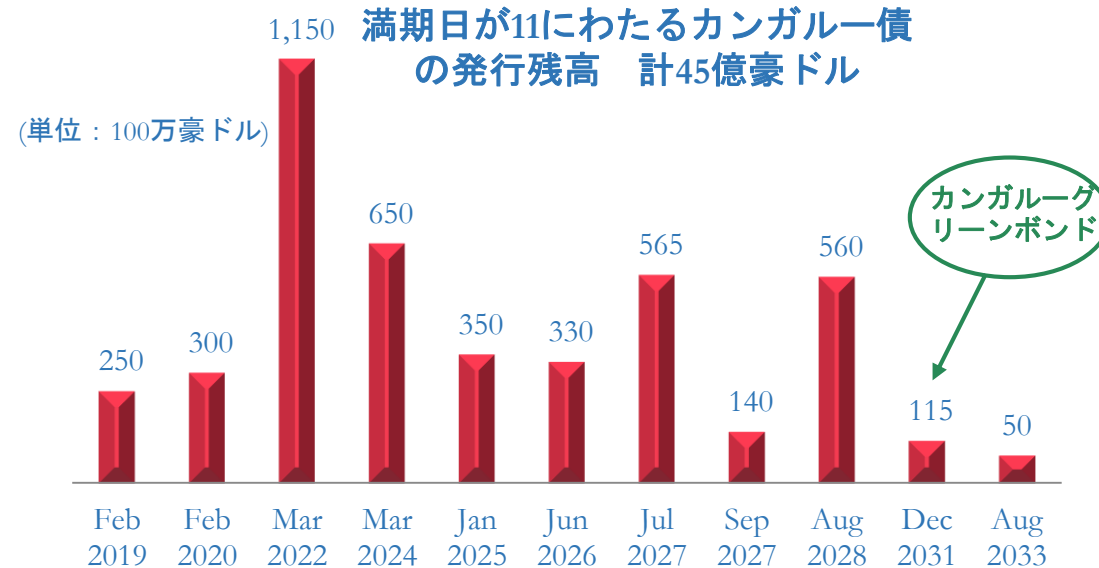


カンガルー債市場の基準となる発行体



2017年のハイライト

- 起債が20件増加
- 10億豪ドル近くの発行額
- 2016発行額は2016年比83%増



2018年は今日までに8億豪ドル近く発行

ユーロ建発行、拡大する足跡

新規投資家を開拓



年次のベンチマーク債の発行で徐々に利回り曲線を形成

初のユーロ建
ベンチマーク債



2026年10月満期の10年物
7億5千万ユーロ 利率0.125%

ブンド + 29.5 bps
OAT + 3 bps
ミッドスワップ - 10 bps

バークレイズ／ゴールドマン・
サックス／ソシエテ・ジェネラル

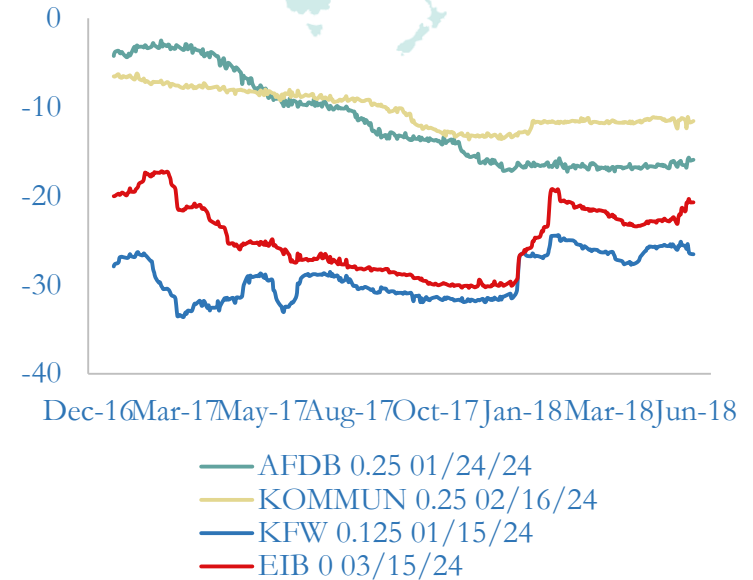


2024年1月満期の7年物
10億ユーロ 利率0.25%

ブンド + 45.5 bps
OAT + 8 bps
ミッドスワップ - 3 bps

バークレイズ／ナティクス／
ナットウェスト／クレディ・ア
グリコル

流通市場の好調なパフォーマンス



アフリカにおけるインクルーシブで持続的な成長へのファイナンス

POSITIVE IMPACT



ソーシャルボンド
2024年11月満期
5億ユーロ
利率0.25%



ソーシャルボンド
2028年5月満期
12億5000万ユーロ
利率0.875%

ソーシャルボンドプログラムによるアフリカ大陸の貧困削減のための具体的な行動の数々

給水と公衆衛生
教育と職業訓練
ヘルスケア
雇用創出
ラストワンマイル接続
情報通信技術(ICT)
食糧安全保障
金融包摂
ジェンダー



SUSTAINALYTICS

「AfDBのソーシャルボンド枠組みは全面的に、信頼でき、透明性が高く、2017年のソーシャルボンド原則の4つの柱に合致している、というのがサステナリティクスの意見である。」2017年9月

「Mirovaはアフリカ開発銀行のソーシャルボンドを歓迎します。これは入念に準備されたもので、幅広く宣伝され、投資家との対話を経て、非常にうまく実施されています。我々は他の発行者も同様のソーシャルボンド枠組を構築することを期待しています。この市場は、より多くの資金を調達することで、より持続的な経済に貢献するもので、当社もこれを支援してまいります。」

Mirova債券部長マーク・ブリアンド（2017年11月）

日本のSRI投資家を対象とする、ハイファイブズ（High 5s）にリンクした複数通貨テーマ債



2027年9月満期
10年物
7億3,300万
スウェーデンクローナ
利率1.245%
「アフリカの電化」
テーマ債



グリーンボンド市場における確立された力

気候変動の緩和・適応に資金提供を行うための信頼性と透明性を備えたグリーンボンド枠組み



二酸化炭素換算4,300万トンの温室効果ガスの削減に寄与



適格な
グリーン
プロジェクト



グリーンフィールド再生
可能エネルギー発電



エネルギー効率機体改良ま
たは都市交通の様式変化



需要側面のブラウンフィー
ルド、グリーンフィールド
エネルギー効率



給水と水へのアクセス

低炭素・気候変動に強い
開発に全面的に資すると
判断された融資プロジェ
クトのみが当行のグリー
ンボンド枠組みの範疇に
含まれます

好調なESG(環境・社会・ガバナンス)格付



CSR評価: 63/100 (上級)
(2014年比 +10ポイント)

「アフリカ開発銀行が果たしている社会的責任(CSR)は絶対ベースで「上級」とみなされ (63/100)、前回評価 (2014年7月) 以降著しく上昇した。」

「アフリカ開発銀行は、そのESG影響の管理に均質的なアプローチを行い、3つの柱全てにおいて先進的な実績をあげている。(中略) 組織の環境戦略では事業運営に関する重要な問題への取り組みが盛り込まれ、環境・気候の保全プロジェクトが実施されている。」 ヴィジオ、2016年8月

MSCI

ESG格付け: A
(2014年と同じ)

「アフリカ開発銀行では、融資の相手国や活動が環境に与える影響から生じる信用リスクへのエクスポージャーが中程度に高い。同行では強固な環境ポリシーや定型化されたESGリスクマネジメントシステムが整備されており、融資対象プロジェクトや活動の環境リスクを軽減するのに役立っている。」

MSCI (モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル)

ESG リサーチ、2017年6月



認定: C+ (プライム)
(2014年と同じ)

「同社は気候変動を主要課題と位置づけ、活動から生じる温室効果ガスの削減を宣言している。さらに、再生可能エネルギーや、顧客のエネルギー効率を通じてコーポレートバリューチェーン（投融資等）における排出の削減に取り組んでいる。」

イーコム・コーポレート・レーティング、2018年1月

アフリカ資本市場発展の促進

当行の貸付通貨を拡大



ZMW – ザンビアクワチャ



NGN – ナイジェリアナイラ



UGX – ウガンダシリング



ZAR – 南アランド



BWP – ボツワナプラ



XOF – CFAフラン（西アフリカ諸国中央銀行発行）



XAF – CFAフラン（中部アフリカ諸国銀行発行）



EGP – エジプトポンド



KES – ケニアシリング



TZS – タンザニアシリング



GHS – ガーナセディ

当行がもっと現地通貨建て債券を発行できるよう、政府や当局と交渉継続中



資本市場の流動性と実効性を高める

アフリカ金融市場イニシアティブを通じたローカル債券市場の発展への貢献

アフリカ企業の資本市場へのアクセスを改善する

ブルームバーグ® アフリカ・ドメスティック・ボンド・インデックス

アフリカ・ドメスティック・ボンド・ファンド

アフリカ金融市場データベース

政府、取引所、規制当局に対し、流動性のある資本市場育成について助言を行う

流動性を高めるため直接資本市場に投資を行う

南ア、エジプト、ナイジェリア、ケニア、ナミビア、ボツワナ、ガーナ、ザンビアの現地通貨建債券で構成

アフリカの現地通貨建債券市場に投資するETF

43か国をカバーするアフリカ債権市場の主要な情報ソース

承認されている
現地通貨建債券発行プログラム

1億6000万ザンビアクワチャMTNプログラム
1600億ナイジェリアナイラ MTNプログラム
1250億 ウガンダシリングMTNプログラム
50億 ボツワナプラMTNプログラム
200億南アランド外国企業上場プログラム

4. 付録

AfDB 損益計算書 (単位:100万UA)

12月31日期末	2017	2016	2015	2014	2013
営業損益					
融資および関連デリバティブ	459.29	369.19	314.78	317.92	296.78
投資および関連デリバティブからの収益	195.04	155.71	122.21	132.41	131.25
その他債券からの収益	2.15	3.78	3.73	3.85	3.95
融資および投資からの収益合計	665.76	536.02	455.78	460.52	441.42
利息および債券発行費用の償却	(428.92)	(373.05)	(346.13)	(375.96)	(302.99)
借入関連デリバティブの純利息	154.02	196.26	217.62	245.42	150.08
借入金および関連デリバティブの未実現損失	48.13	(68.04)	(38.81)	(36.73)	46.82
融資元本および未収手数料の減損引当金	(16.97)	(67.81)	(65.43)	(18.02)	(41.14)
株式投資の減損引当金	(0.02)	0.16	0.43	0.75	0.76
投資の減損引当金	-	-	-	-	9.19
為替（損）益	(1.45)	1.00	14.61	(4.07)	13.33
その他の利益	3.61	9.51	2.30	3.39	3.03
純営業利益	426.46	261.49	229.65	282.20	302.98
管理費	(147.77)	(130.06)	(122.00)	(123.16)	(110.97)
償却－有形・無形資産	(15.22)	(10.04)	(9.05)	(7.61)	(6.70)
雑勘定（費用）/収益	(5.04)	(1.32)	(5.44)	0.26	(4.98)
その他の費用合計	(168.03)	(141.42)	(136.49)	(130.50)	(122.65)
総務会承認の配分前利益	258.43	120.07	93.16	151.70	180.33
総務会承認の利益配分	(82.00)	(95.00)	(124.00)	(120.00)	(107.50)
当期純利益	176.43	25.07	(30.84)	31.70	72.83

1 UA = 1 SDR = USD 1.54000 (2013) ; 1.44881 (2014) ; 1.38573 (2015) ; 1.34433 (2016) ; 1.42413 (2017)

AfDB 貸借対照表ハイライト (単位:100万UA)

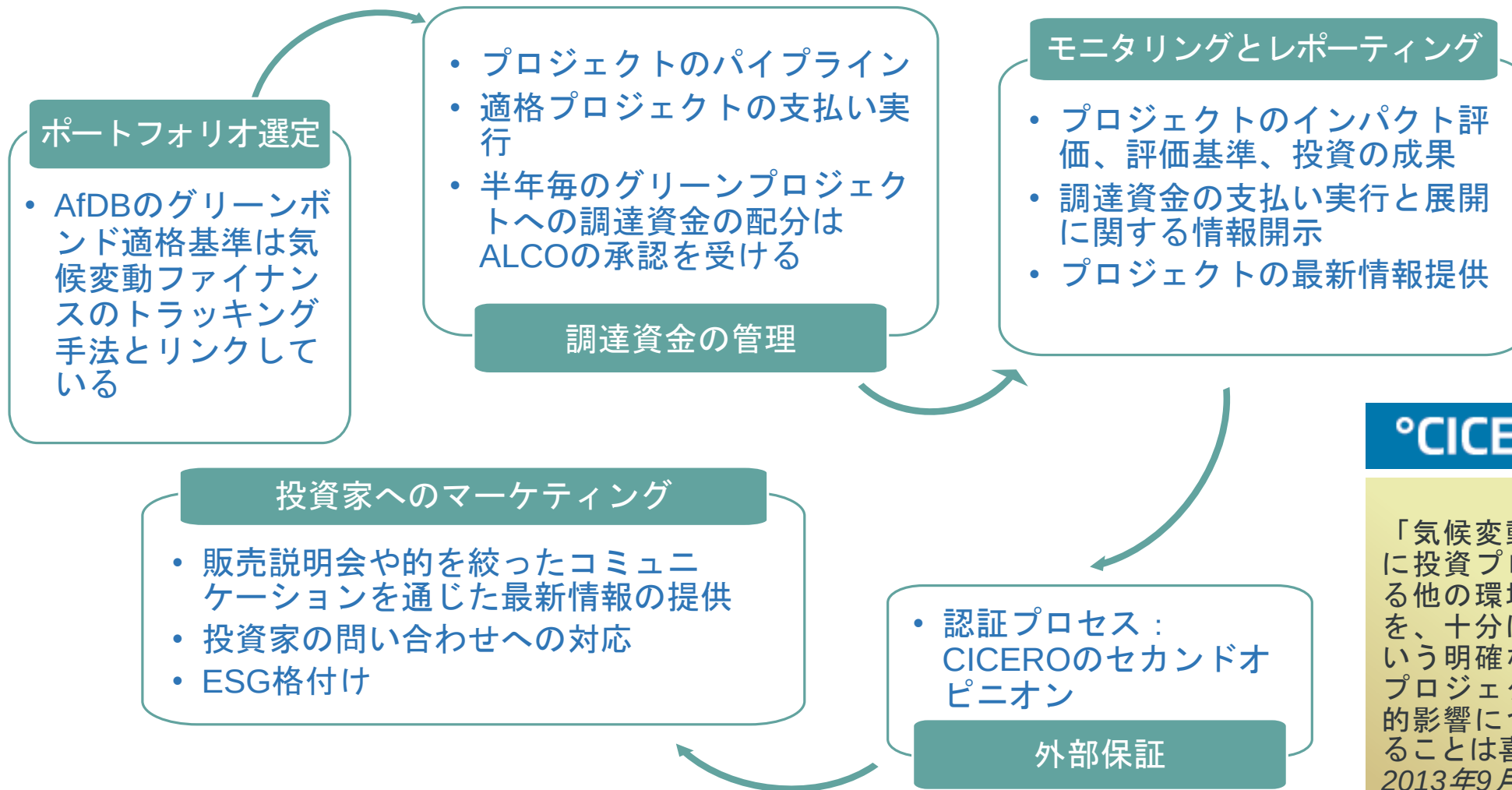
12月31日期末	2017	2016	2015	2014	2013
資産					
現金	1,173.10	1,306.82	1,214.61	406.71	954.13
要求払い預金	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
財政投資	11,521.07	10,590.04	8,392.26	7,341.62	6,058.45
デリバティブ資産	717.02	1,233.75	1,454.62	1,143.68	985.96
資本勘定の非譲渡性証券	0.08	0.16	0.27	0.74	1.2
未収金	594.97	543.83	489.54	640.16	843.86
融資残高	17,818.24	15,348.44	13,070.40	12,647.81	11,585.84
ヘッジを行った融資 – 時価に評価替え	54.45	80.23	79.84	112.7	32.49
資本参加	781.22	719.38	703.27	596.82	525.01
その他の債券	-	54.36	46.42	94.11	82.9
その他の資産	96.37	97.7	93.56	79.46	41.22
資産合計	32,575.73	29,727.09	25,346.74	22,950.83	20,996.72
負債・資本・準備金					
未払金	1,255.59	1,615.99	1,332.38	1,211.81	1,246.11
デリバティブ負債	1,051.63	861.27	1,084.99	853.74	971.85
借入金	23,175.69	20,644.15	16,449.27	14,375.95	12,947.44
引受済資本金	4,268.81	4,019.88	3,727.69	3,438.23	3,147.08
引受に対する為替換算調整累計額	(158.04)	(161.04)	(168.84)	(173.54)	(172.65)
準備金	2,982.05	2,746.84	2,921.25	2,815.32	2,856.88
負債・資本・準備金合計	32,575.73	29,727.09	25,346.74	22,950.83	20,996.72

1 UA = 1 SDR = USD 1.54000 (2013) ; 1.44881 (2014) ; 1.38573 (2015) ; 1.34433 (2016) ; 1.42413 (2017)

グリーンボンド枠組み



AfDBのグリーンボンド枠組み

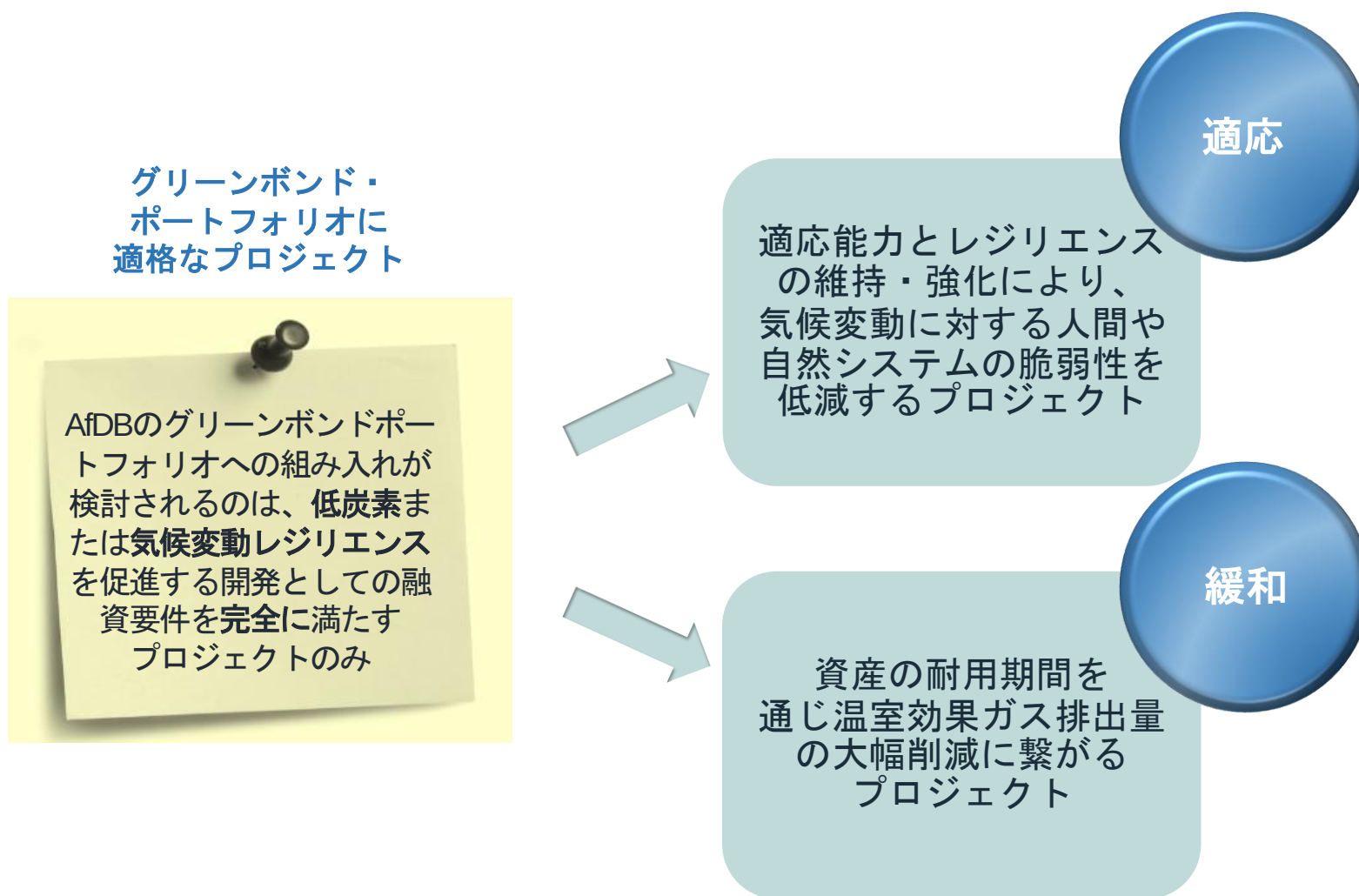


°CICERO

「気候変動による問題、ならびに投資プロジェクトに関連し得る他の環境・社会面の懸念事項を、十分に認識している機関という明確な印象がある。特に、プロジェクトの時空間を跨ぐ外的影響について認識を示していることは喜ばしい。」
2013年9月

グリーンボンド原則を順守

気候変動ファイナンスのトラッキングに関するAfDBの指針



AfDBグリーンボンドの適格プロジェクト

未開の土地における再生可能エネルギー発電（太陽光、風力、地熱、波力発電など）

生物圏保護プロジェクト（森林伐採・生態系退化による温室効果ガス排出量の削減）

固形廃棄物管理（廃棄物の焼却、埋立地ガスの捕集・燃焼など）

漏えい排出物と二酸化炭素の回収（二酸化炭素の回収・貯蔵、原油・ガス産業におけるガスフレアやメタン漏出の削減、炭鉱メタンの回収など）

高燃費車両への改良や都市輸送のモーダルチェンジ

工業プロセス（工業プロセスの改善とよりクリーンな生産による温室効果ガス排出量の削減）

既に開発済みの土地および未開の土地における需要サイドのエネルギー効率（照明や機器のエネルギー効率改善、技術的ロスを低減するための送電線・変電所・配電システムの改良など）

給水および水へのアクセス（必要水量の少ない作物の導入、土壌水分や肥沃性の保持等の節水対策など）

都市開発（気候変動により生じる突発的洪水や嵐の頻度・深刻度に多大な影響を受け易い地域における都市排水システムの修復・改良など）



プロジェクトの評価と選定

気候変動適応・
緩和ファイナ
ンスに関する
国際開発金融機
関(MDB)共同の
レポート

AfDBの環境戦略
が全プロジェク
トの設計に浸透

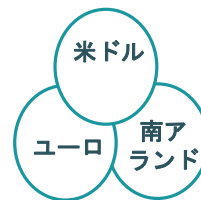
AfDBの気候変
動適応・緩和
ファイナンス
のトラッキン
グ手法

気候変動・グリーン成長局がオペレーション
を担う各局と共に、AfDBの気候ファイナ
ンストラッキング手法に従って気候変動プロ
ジェクトを評価・選定

気候変動・グリーン成長局が財務局と共に、
AfDBのグリーンボンド枠組みに従ってグ
リーンボンドポートフォリオに加えるプロ
ジェクトを評価・選定

起債による
調達資金

半年毎の
配分



全プロジェクト



グリーンボンド枠組み
の適用

グリーンボンド
適格プロジェクト



調達資金の配分

起債による調達資金に係る手取金と同額が、財務局の流動資産ポートフォリオに配分され、実証済みの正式な内部プロセスを通じて適切にトラッキングされることで、手取金が気候変動適応・緩和に関わる分野のAfDB融資事業（適格プロジェクト）にリンクするよう確保

債券が未償還の期間中、AfDBの負債配分枠組みのもと、セメスター毎の適格プロジェクトへの拠出額相当分を、当該セメスターの末に手取金残高から減額*



* 拠出までの間は、調達資金に係る手取金はAfDBの流動資産ポートフォリオに配分し、他の通常資本財源と同様の保守的な投資ガイドラインのもと投資に利用。

大規模水力発電プロジェクトの負の効果への対処

以下基準のいずれかに該当する場合、
全面的な環境社会影響評価 (ESIA) を要する

発電容量が
30 MWを越え
る発電所

地域住民が使用
する土地に影響
を与える千ヘク
タール以上の貯水
池の建設に伴う
ダムプロジェクト

人口密度が高い
地域、森林地
域、耕作地のい
ずれかを横切る
110 kV 以上の
送電線

大規模水力発電は、排出量の純減が立証され得る場合
に限り(例：化石燃料の代替により削減される排出量－
貯水池の建設による排出量)、AfDBのグリーンボンドに
適格

AfDBのグリーンボンドポートフォリオの2大水力発電プロ
ジェクト：

- 国営電力・水力公社(ONEE)風・水力発電統合プロ
ジェクト(モロッコ)
- イテジテジ水力発電プロジェクト(ザンビア)

ケーススタディ：イテジテジ水力発電プロジェクト(ザンビア)

- クリーンな水力発電により年間推定36万トンの二酸化
炭素排出量を削減
- カテゴリ1プロジェクトとして全面的ESIAを実施済み
- 最低3,900万米ドルのプラスの環境外部性を創出見込み
- プロジェクトの影響を受ける400名について、AfDBの
非自発的再定住に関する方針（脆弱者の転居をサポート
する等）に沿った完全な再定住活動計画(RAP)を策
定・実施
- ザンビア電力公社(ZESCO)が予算配分を行い、プロ
ジェクトの影響を受ける人々に公平でタイムリーな補
償を確保

2017年のAfDBのグリーンボンドポートフォリオに
占める大規模な水力発電プロジェクトの割合は6.74%

グリーンボンド情報：透明性へのコミットメント

グリーンボンド専用ウェブページ

- AfDBのグリーンボンド枠組み
- Ciceroのセカンドオピニオン
- ヴィジオ社のESG格付け
- グリーンボンドポートフォリオの適格プロジェクト一覧
- グリーンボンドの起債リスト
- AfDBのグリーンボンドニュースレター

年次のグリーンボンドニュースレター

インパクト・レポーティング（影響評価報告）：

- 建設・改修された再生可能エネルギー発電設備の容量
- 年間エネルギー節約量
- 年間エネルギー生産量
- 温室効果ガスの年間回避・削減量
- 節水量・処理水量
- 年間集水量
- その他の指標（雇用創出数）

English | Français

Home Countries Topics & Sectors Projects & Operations News & Events Documents Knowledge About us Contact us

Home Topics & Sectors Initiatives & Partnerships Green Bond Program

Green Bond Program

Topics

- Initiatives & Partnerships
 - Green Bond Program
 - Background
 - Portfolio Selection
 - Green Bond Issues
 - Green Bond Newsletter
 - Green Bond Contacts
- Sectors

Background

The AfDB Green Bond program facilitates the achievement of the Bank's corporate priority of green growth through the financing of eligible climate change projects. Investors can make a difference with their investment by financing climate change solutions through AfDB's Green Bonds. [Read More](#)

Did you know

Deforestation in Africa is twice the world rate

[Find out more](#)

Eligible Green projects as of 31st October 2017

Name of project	AfDB financing (USD mn)	Allocated amount to Green Bonds (USD mn)
Segou Solar Power Plant - Mali	10	0
Achwa 2 Hydro Power Plant - Uganda	20	0
National Irrigation Water Saving Programme Support Programme - PHASE II (PAPNEI-2) - Morocco	80	0

Newsletter - Issue N°4

[More AfDB Green Bond investments](#)

AfDB's Annual Green Bond Newsletter | Issue 04 | November 2017

IN THIS ISSUE

- Background **1**
- 2016 & 2017 Key Highlights **2**
- Promoting Climate-Resilient and Low-Carbon Development in Africa **3**
- By the Numbers **6**
- Commitment to Transparency and Accountability **7**
- 2016 Selected Green Approvals and Latest Developments **9**
- Impact Reporting **11**
- Contact Information **17**

BACKGROUND

The African Development Bank's Ten-Year Strategy for 2013-2022 aims to improve the quality of Africa's growth and is built around two objectives. The first objective is to achieve growth that is inclusive and the second is to ensure that this growth is sustainable, thus helping Africa gradually transition to "green growth" that will protect livelihoods, improve water, energy and food security, promote the sustainable use of natural resources and spur innovation, job creation and economic development. The AfDB Green Bond program facilitates the achievement of the Bank's corporate priority of promoting green growth by financing eligible climate change adaptation and mitigation projects.

“Climate change is real and Africa is at the receiving end. There must be climate justice for Africa. Africa, which has been short changed by climate change, must not be short changed by climate finance. This is the time for action on climate finance for Africa.”

Dr. Akinwumi A. Adesina
President of the African Development Bank Group

年次ニュースレター：グリーン・インパクト・レポーティング

プロジェクト

セクター

AfDB融資

融資の割合

耐用期間 (年)

グリーンボン
ドへの配分額

年間エネル
ギー節約量
(MWh)

年間エネル
ギー生産量
(MWh)

再生可能エネ
ルギー発電設
備の追加容量

温室効果ガスの
年間回避・
削減量(CO2)

その他の指標

ジェン
ダーイン
パクト

節水量

雇用
創出数

植樹数

POSITIVE IMPACT



グリーンボンドのインパクト・レポーティング (1) - 再生可能エネルギー・エネルギー効率の主要プロジェクト

プロジェクトの概要	国	セクター	AfDB 融資額 (百万米ドル)	AfDBによる融資 の割合	グリーンボ ンドへの 配分額 (百万米ドル)	予想される 経済的・ 財務的 耐用期間 (年)	年間エネルギー 生産量(MWh)	追加・改修 される再生 可能エネル ギー発電 設備容量 (MW)	温室効果ガスの 年間削減・ 回避量 (t-CO2e)	その他の指標
ウガンダ農村部電力アクセスプロジェクト (ウガンダ) 水力発電により生産した再生可能エネルギーを輸送するため配電網を敷設し、農村部の世帯・事業者・公共機関に送電網へのラストワンマイル接続の提供を目的とするプロジェクト。ディーゼル燃料によるエネルギー生産を再生可能エネルギーによる電力に置き換えるとともに、森林伐採の抑制にもつながる。	ウガンダ	太陽光	100	82%	0.5	20	0	0	38,713	- 建設期間中に992（198は女性）の、操業中に88（26は女性）の直接雇用を創出 - 植樹11万本
イテジテジ水力発電プロジェクト (ザンビア) 既存のイテジテジダムの敷地に、新たな120MWのベースロード水力発電ダムの開発・建設・オペレーションを行うプロジェクト。地域内に発電容量を追加する本プロジェクトは、ザンビア経済のレジリエンスに資する。	ザンビア	水力	35	15%	31	40	89,477	17.57	52,720	- 建設期間中に約700名の作業員を雇用見込み - 操業段階に約120の正社員職を創出予定
エスコム(南アフリカ電力公社)再生可能エネルギープロジェクト – セレ風力発電施設 (南アフリカ) 100MWの再生可能エネルギー発電容量を追加し、20年間の耐用期間中に600万トン近くの温室効果ガス排出量削減に寄与するもの。	南アフリカ	風力	45	13%	9	20	28,833.39	13.17	32,915	本風力発電施設は、建設期間中に約140の直接雇用と1,371の間接雇用を、操業段階に10の雇用を創出見込み
キブワットプロジェクト (ルワンダ) 以下2つの主要コンポーネントからなるプロジェクト：①キブ湖沖合のフローティングバージ（艇）上に設置するメタンガスの抽出・精製設備にて、水深320メートル以深から溶存メタンガスを抽出②キブエの湖岸に設備容量25MWの発電所を建設し、メタンガスを電気エネルギーに変換	ルワンダ	バイオガス	25	20%	23	25	215,000	25	700,000	本プロジェクトにより、建設段階に250の新規雇用を創出するほか、60の熟練を要する正社員職を創出見込み
カボヴェルデ風力発電プロジェクト (カーボヴェルデ) カーボヴェルデ諸島の4島にての4基の陸上ウィンドファームの建設・操業・メンテナンスからなるプロジェクトで、合計設備容量は25.5MW。本プロジェクトにより、二酸化炭素排出量を最低でも年間8万5千トン削減する。	カーボヴェルデ	風力	16	23%	12	20	21,562	5.98	19,922	現地にて、建設期間中に80、操業段階に8～10の雇用を創出

グリーンボンドのインパクト・レポーティング (2) – 持続可能な廃水の主要プロジェクト

プロジェクトの概要	国	セクター	AfDB 融資額 (百万米ドル)	AfDBに よる融資 の割	グリーンボ ンドへの 配分額 (百万米ドル)	年間節水量(百 万立方メートル)	処理・リユ ース・回避される 年間排水量(百万 立方メートル)	温室効果ガスの 年間削減・ 回避量 (t-CO2e)	その他の指標
国家節水灌漑プログラム支援プロジェクト (モロッコ) 水使用者組合や農民の節水、水土保全、収入源の多様化、能力開発を推進する気候変動適応プロジェクトで、脆弱なグループや生産システムの気候変動へのレジリエンス向上を見込む。プロジェクトのインパクトは、Oum Rbia (ウム・ルビア)とLoukkosの2水域の合計1万250農家、計2万6千ヘクタールの土地に及ぶ。	モロッコ	持続可能な水管理	88.00	49%	0.00	31.60			- アンカーインフラが節水に寄与し、年間推定6,430万立方メートルの再生水を生産 - 土地開発により70万近くの新規雇用を創出
処理水品質向上プロジェクト (チュニジア) チュニジアにて、灌漑やかん養に処理水を直接使用することで、水ストレス緩和に寄与するプロジェクト。	チュニジア	廃水処理	37.03	87%	12.38		38,544.893	154,180	居住者約390万人に健康的な環境を実現；土地5千ヘクタールを対象としゴルフコース約700ヘクタールへ給水；地域の沿岸漁業を向上
ガバル・エル・アスファ廃水処理施設 (GAWWTP) – フェーズ2プロジェクトのステージ2 (エジプト) 本プロジェクトは、カイロ東部の排水システム排出される廃水の品質向上を図ることで、地域住民800万人近くの公衆衛生向上とクリーンな環境作りに寄与することを目的とするもので、GAWWTPフェーズ2の建設を行い、廃水処理容量を1日当たり50万立方メートル追加する。	エジプト	廃水処理	60.86	21%	48.89		182,500,000	730,000	- 嫌気性消化装置を用いた発電を含むプロジェクト。発電量(約6MW)は内部使用し、電力コストを削減 - 施設の操業とメンテナンスに、必要スキルレベルがさまざまな250～300の正社員職が必要
国家節水灌漑プログラム支援プロジェクト (モロッコ) 約2万ヘクタールを対象とする灌漑インフラ建設へ資金提供を行うプロジェクト。従来の灌漑システムをオンデマンドの灌漑システムに変換するだけでなく、警報システムの構築も行うことで、気候変動適応・緩和の両方を目指す。	モロッコ	持続可能な水管理	61.16	78%	47.98	53.66			- 農家5,853戸と対象人口3万人近くに直接的な恩恵 23万5千の新規雇用を創出
農業収入向上及び森林保全事業–プロジェクト2 (ウガンダ) 気候変動や降雨パターンが不確かさを増している影響で、ウガンダ政府にとって灌漑への投資の必要性が極めて重要になっている。本プロジェクトは、新たに5つの重力灌漑スキームを開発し、持続可能な天然資源管理と農企業開発を通じて、世帯収入、食糧安全保障、気候変動レジリエンスの向上を支援するもの。	ウガンダ	持続可能な水管理	77	84%	1.4			10,276	- 新たな灌漑地4,038ヘクタールにて高価値作物を栽培 - 灌漑スキームにより3万1千世帯（うち約51%が女性）に直接的な恩恵 - 荒廃林5千ヘクタールの再生 - 農民9万683人に天然資源管理の教育を実施

世界最大の集光型太陽熱発電所

モロッコ – ワルザザート太陽光発電コンプレックス – フェーズ2 (NOORo II & NOORo III)

事業費：10億米ドル – AfDB融資額：1億2,100万米ドル

承認：2014年12月

調印：2014年12月

完成予定：2019年12月

モロッコは2016年に、世界最大の集光型太陽光発電所の最初のフェーズ、Noor 1（Noor太陽光発電所を構成する4ヵ所の太陽光発電所のうちのひとつ）に着手した。本プロジェクトは、580メガワットの発電を行い、国の化石燃料への依存を軽減し再生可能エネルギーの利用を促進するもの。Noor 1の設備容量は160メガワットで、25年間にわたり年間24万トン(CO₂)の温室効果ガス排出量の削減に寄与する予定。

- 集光型太陽光発電 (CSP) で、発電規模は500メガワット
- 年間52万トン (CO₂) の温室効果ガスを削減
- プロジェクトの耐用期間にわたり年間1,300万トンのCO₂排出を抑制
- 建設期間に1,600の雇用を、以降に200の正社員職を創出
- モロッコのエネルギー供給における再生可能エネルギーの割合を拡大



ダルエスサラームにて持続可能な輸送を推進

タンザニア－ダルエスサラーム・バス高速トランジット (BRT)

事業費：1億6千万米ドル－AfDB融資額：9,700万米ドル

承認：2015年9月

調印：2015年10月

完成予定：2020年12月

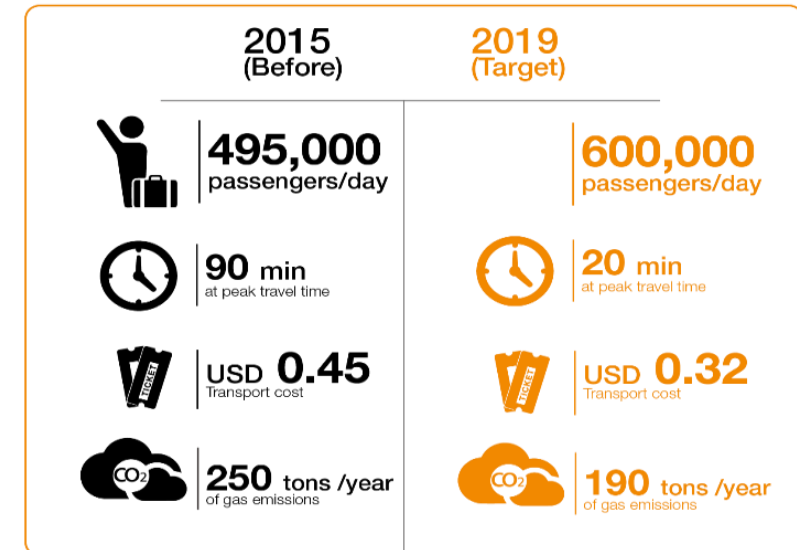
2016年に20km以上のトラック路線を対象とするBRTプロジェクトの第1フェーズが完了して以来、ダルエスサラームの住人は高速輸送サービスを利用している。本プロジェクトは、回廊137kmの広域システムを6フェーズに分けて建設する計画。

- この回廊は、これまで渋滞を始めとする移動の問題に悩まされてきた多数の通勤者の移動時間とコストの削減を実現
- ダルエスサラームとその近郊の経済的生産性を向上
- 輸送に関連した大気汚染物質を削減することにより、ダルエスサラームの住人の健康を増進

BRTの第2フェーズでは、現在建設が進む全長20.3kmのBRTシステムが、ダルエスサラームの中央ビジネス地区をムバガラと結ぶ。



期待される効果



よりグリーンな農業を目指し、灌漑へ融資

モロッコ－国家節水灌漑プログラム支援プロジェクト (PAPNEE 2)

事業費：9,700万米ドル－AfDB融資額：8,800万米ドル

承認：2016年12月

調印：2017年6月

完成予定：2023年12月

PAPNEE-2は、Oum Rbia（水分ストレスが高レベルな水域）とLoukkos（エネルギーコストが極めて高い水域）の2水域を対象とする気候変動適応プロジェクト。2水域内の合計約2万6千ヘクタールをカバーし、灌漑インフラの建設、灌漑水の開発、水使用者組合や女性・若者といった脆弱なグループを中心とする農民の能力開発活動に融資する。

- 小規模農民中心の6万1,500人近くのターゲット人口を擁する1万250農場に直接的な恩恵
- 年間節水量6,430万立方メートル
- 年間50万米ドル相当のエネルギー効率化
- 建設現場にて53万5,310の雇用を、2017～2022年に土地開発により年間69万6,180の追加雇用を創出



ソーシャルボンド枠組



なぜソーシャルボンドを発行するのか

AfDBのミッションステートメント：アフリカにおいて持続可能な経済開発と社会的発展を促進することで、貧困削減に寄与する

AfDB10ヵ年戦略の包括的目標：インクルーシブな成長の推進とアフリカ諸国のグリーン成長への段階的移行の支援

投資家の多様化

初期段階にあるソーシャルボンド市場を支援

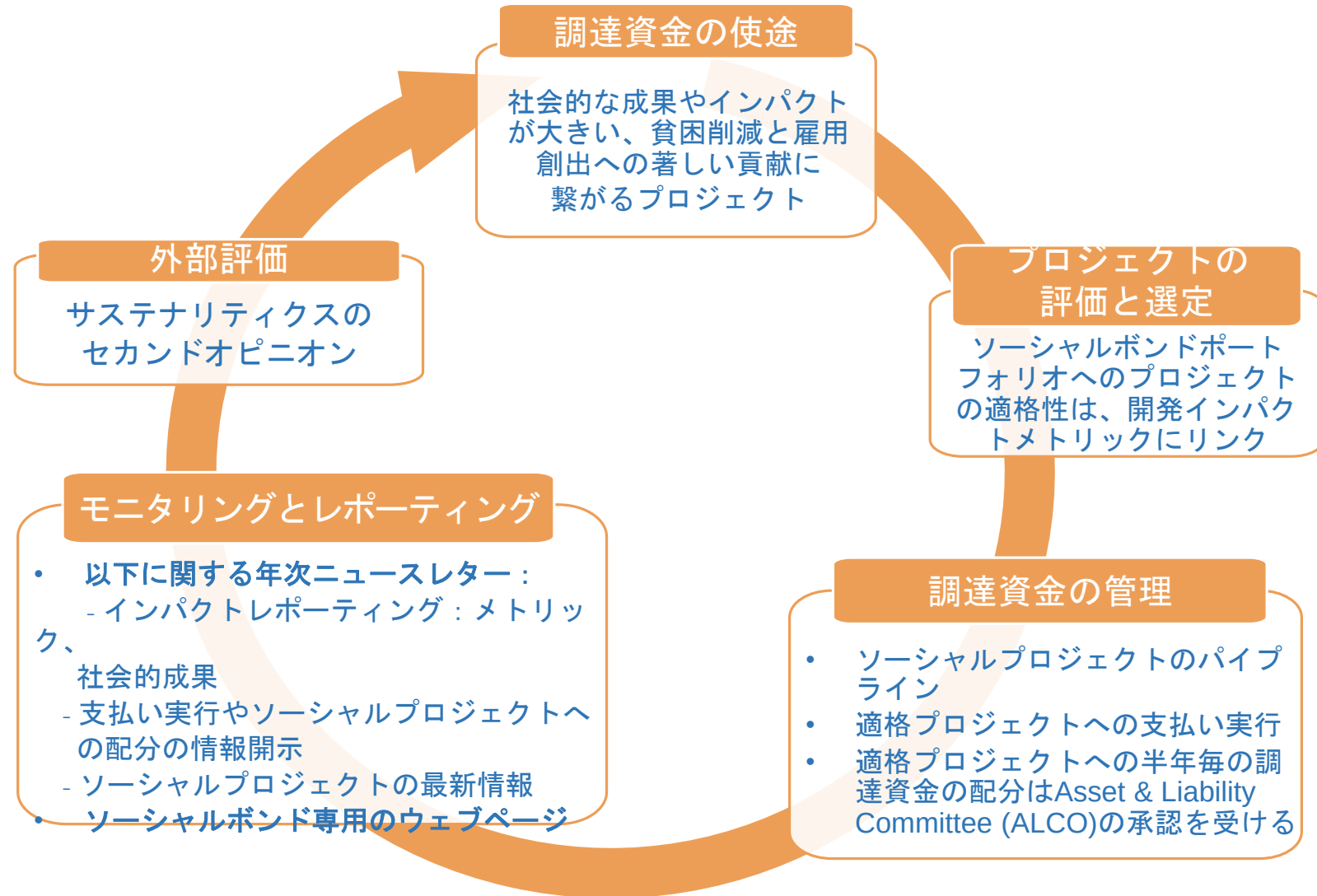
AfDBのアフリカ大陸における貧困撲滅のための具体的活動を示す

社会的責任投資(SRI)におけるAfDBの卓越した実績

AfDBのソーシャルボンド枠組み



「AfDBのソーシャルボンド枠組みは全面的に、信頼でき、透明性が高く、2017年のソーシャルボンド原則に合致している、というのがサステナリティクスの意見である。」サステナリティクス、2017年9月



2017年版ソーシャルボンド原則を順守

プロジェクトの評価と選定

AfDBのオペレーションを担う各局*が、社会的な成果とインパクトの大きさをスクリーニングしてプロジェクトの特定と分類を行う

適格ソーシャルプロジェクトの最終的な選定は、オペレーション各局作成の提案リストに基づいてオペレーション各局と財務局の合意により決定する

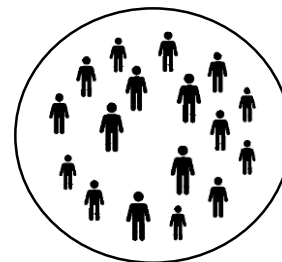
AfDBのプロジェクト



AfDBソーシャルボンド枠組みの適用



適格ソーシャルプロジェクト



* 主にAHVP（農業・人間/社会開発担当の副総裁職）と
PIVP（民間セクター・インフラ・工業化担当の副総裁職）

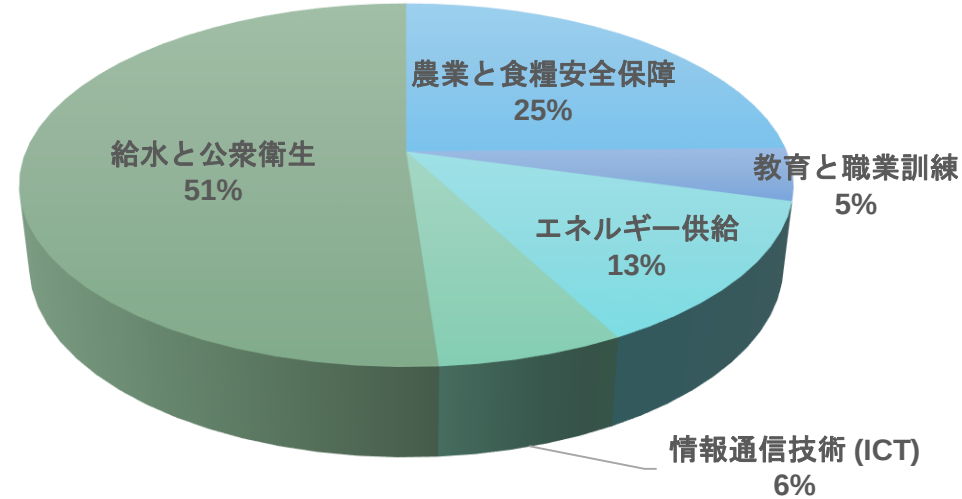
AfDBソーシャルボンドの適格プロジェクト

給水と公衆衛生（持続可能
で安全な給水・公衆衛生
サービスの提供）

医療（医療制度開発、公衆
衛生、病院・ヘルスケアセ
ンターの建設や改修）

情報通信技術 (ICT)（農村
部コミュニティのラストワ
ンマイル接続）

住宅金融、金融包摂、セク
ター開発（公共住宅、住民
のための支払システム）

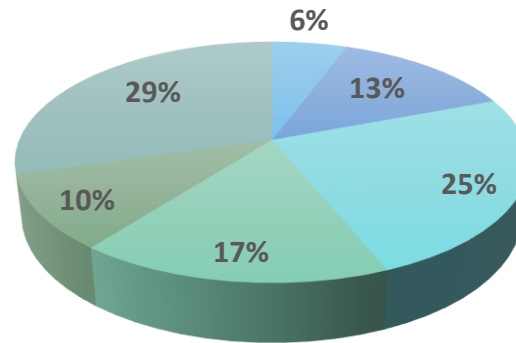


農業と食糧安全保障（小規模
灌漑と農業バリューチェーン開
発、農村部の農民に対する農場
インフラと農業投入財の提供、
ソフトコモディティファイナンス
のファシリティ）

アグリビジネス、農業関連産
業、アグリサービス（中小企業
とバリューチェーンへの融資）

エネルギー供給（農村部の
電化）

教育と職業訓練（雇用可能性
と企業家精神のためのスキル開
発、若年雇用プログラム、学校
のインフラ強化と能力開発）



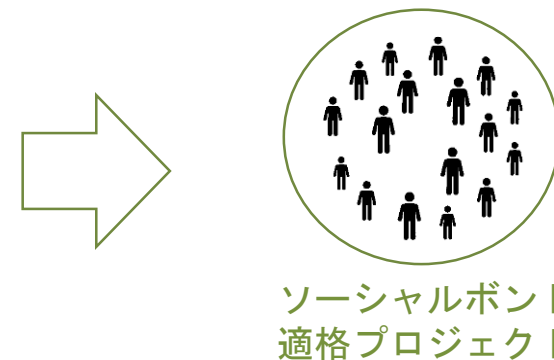
Multinational North Africa East Africa
Southern Africa Central Africa West Africa

アフリカ全土における貧困削減プロジェクト

調達資金の管理

起債による調達資金に係る手取金と同額が、AfDB財務局の流動資産ポートフォリオに配分され、実証済みの正式な内部プロセスを通じて適切にトラッキングされることで、手取金が社会的影響力の大きいプロジェクト（適格ソーシャルプロジェクト）にリンクするよう確保

債券が未償還の期間中、AfDBの負債配分枠組みのもと、半年毎に適格ソーシャルプロジェクト・融資への拠出額相当分を、当該半年末に手取金残高から減額*



* 拠出までの間は、調達資金に係る手取金はAfDBの流動資産ポートフォリオに配分し、他の通常資本財源と同様の保守的な投資ガイドラインのもと投資に利用。

SRI投資家の透明性・情報開示の要求を満たす



ソーシャルボンド専用の ウェブページ

- AfDBのソーシャルボンド枠組み（プロジェクト評価・選定の基準、調達資金の管理など）
- セカンドオピニオンを提供するサステナリティクス社によるAfDBのソーシャルボンド枠組みの評価と格付け
- ソーシャルボンドポートフォリオに含まれるプロジェクト一覧
- ソーシャルボンドの取引一覧
- AfDBのソーシャルボンドニュースレター
- 開発効果報告書*

年次のソーシャルボンド ニュースレター

- ソーシャルボンド市場における主な展開
- 主要なソーシャルプロジェクトに関する詳細情報（実施、支払実行、その他関連する指標）
- インパクト・レポーティング：当該ソーシャルプロジェクトの影響を受ける受益者数、雇用創出数など
- AfDBのソーシャルボンド起債について（償還期間中の債券、ソーシャルプロジェクトへの配分、投資家の種類・地理分布）

* 年次発行の本報告書は、AfDBの全官民セクタープロジェクトのモニタリング、アフリカの開発目標に対する進捗の詳細情報の掲載、アフリカ開発へのAfDBの寄与に関するアセスメントを行う。

ソーシャルボンドのインパクト・レポーティング(1) 主要プロジェクト

プロジェクト名・目標	セクター	国名	通貨	事業費	AfDB 融資額	受益者数	雇用創出	その他指標
都市部における持続可能な給水・公衆衛生サービス提供への組織支援 - 中央および州レベルの給水・公衆衛生セクターの組織効率の強化とアクセス・サービス提供の向上	給水と公衆衛生	アンゴラ	USD	154,710,000	123,770,000	230万 (女性 52%)	サービスが行き届いていなかった都市部周辺の女性・若者	下痢性疾患による5歳未満の死亡率が ¹ 173/1,000から108/1,000に減少
4市における給水・公衆衛生向上プログラム - 持続可能な給水・公衆衛生サービスへのアクセス向上とサービス提供の強化を通じて、受益4市の市民の医療・社会経済開発を向上	給水と公衆衛生	エチオピア	USD	113,950,000	76,110,000	63万5千 (女性>50%)	投資増大により創出される雇用・生活機会	5歳未満の死亡率が ¹ 64/1,000から30/1,000に減少
市部における持続可能な給水・公衆衛生 - 安全で手頃な価格で持続可能な給水・公衆衛生サービスの提供を通じ、経済成長の可能性を開放し人々の生活の質を向上	給水と公衆衛生	ケニア	USD	451,663,097	381,191,000	211万人に水道、134万人に下水道へのアクセス提供	直接雇用600、正社員職2,000、臨時の間接雇用1万	5歳未満の死亡率が ¹ 51/1,000から20/1,000に減少
飲料水の品質・サービス向上プロジェクト - 複数の町の飲料水供給を統合・確保、および水の品質と既存の飲料水供給サービスのパフォーマンスの向上	給水と公衆衛生	モロッコ	EUR	177,700,000	88,850,000	2030年に800万人(農村地域の100万人を含む)	作業・稼働フェーズに数百+地域の経済活動の促進	5歳未満の死亡率が ¹ 30/1,000から25/1,000に減少
都市部における水セクター改革とポートハーコートにおける給水・公衆衛生プロジェクト - ポートハーコートにおける安全な飲料水・公衆衛生への持続可能なアクセス提供と全国の都市部における給水・公衆衛生システムの改革を実施する政府の能力強化	給水と公衆衛生	ナイジェリア	USD	346,060,000	200,000,000	130万人 (女性47%)	新卒者アタッチメントスキームを通じた若年層の雇用機会	5歳未満の死亡率が ¹ 142/1,000から22/1,000に減少
ルーガ〜ティエス〜ダカール道路沿いの給水の複数用途利用の強化 - 家庭・工業・農村利用のための飲料水の強化・保護	給水と公衆衛生	セネガル	EUR	423,840,000	65,000,000	300万人 (女性51%)	新規雇用5,150	下痢性疾患の罹患率を2025年までに15%削減
アルーシャにおける持続可能な都市給水・公衆衛生提供プロジェクト - Provide 安全で信頼性が高く持続可能な給水・公衆衛生サービスの提供と、医療・社会福祉・生活水準の向上への寄与	給水と公衆衛生	タンザニア	USD	233,916,000	143,647,000	アルーシャにて60万人、他に25万人	建設期間中の雇用機会	5歳未満の死亡率が ¹ 81/1,000から54/1,000に減少
農村部における飲料水供給プログラムフェーズII - 十分な質と量の飲料水の安定的供給の確保による、農村部コミュニティにおける社会経済的・衛生的生活環境の改善	給水と公衆衛生	チュニジア	EUR	149,255,909	97,400,000	居住者37万2千人、1,200校以上の生徒・教職員13万人	臨時職2千 (作業フェーズ)、正社員職1千 (DWSシステムのマネジメント)、最大で7,500の間接雇用	飲料水媒介の疾患の発生率を2025年までに削減
ルサカ公衆衛生プログラム - 気候変動レジリエンスを備えた持続可能なインフラプロジェクト - 都市部の貧困層を中心とするルサカ市民の持続可能な公衆衛生サービスへのアクセスを向上	給水と公衆衛生	ザンビア	USD	127,830,000	50,000,000	47万3千人の直接雇用者 (女性52%)、60万人の間接雇用者	プログラムを通じて、フルタイムの熟練・準熟練職250 + パートタイムの非熟練職600	5歳未満の死亡率が ¹ 87/1,000から50/1,000に減少

ソーシャルボンドのインパクト・レポーティング(2) 主要プロジェクト

プロジェクト名・目標	セクター	国名	通貨	事業費	AfDB 融資額	受益者数	雇用創出	その他指標
農業バリューチェーン開発プロジェクト－油やし、プランテン、パイナップルのバリューチェーン改善と、若年雇用の創出	農業と食糧安全保障	カメルーン	EUR	115,081,000	89,291,000	24万2千人(女性50%)	6千の新規雇用	ターゲットバリューチェーンの競争力向上
ベリエ地域農産業ポールプロジェクト－住民の食糧・栄養安全保障の向上に寄与	農業と食糧安全保障	コートジボワール	EUR	123,475,475	64,360,000	46万1,600人(女性50%)	1万9千の新規雇用	慢性的な栄養失調の割合を32%から20%に削減
国家下水道プログラム－プロジェクトエリアにおける農業生産性と世帯収入の向上	農業と食糧安全保障	エジプト	EUR	74,990,000	50,200,000	12万5千世帯の農家	有給雇用の間接的増加	作物生産性を15～21%改善
エナブル・ユース・ナイジェリア－若年男女のための農業チェーンに沿った事業機会と適切雇用の創出	農業と食糧安全保障	ナイジェリア	USD	523,000,000	250,000,000	失業中のナイジェリア人学位保持者の50% + アグリビジネスに従事する若者の50%	18万5千(女性50%)	受益者の収入を40%向上
若年層の雇用可能性と社会的保護の改善のための能力開発－若年層の雇用可能性向上と社会的包摂の強化に寄与	教育と職業訓練	ガボン	EUR	94,040,000	84,630,000	72万人の若年者(14～35歳)	若年層(25～34歳)の失業率を25.9%から23%に削減、うち女性40%	2022年までに専門試験の合格率60%(女子55%)を達成
アフエ・ババロラ大学(ABUAD)－ABUADの品質と競争力の強化	教育と職業訓練	ナイジェリア	USD	99,775,505	40,000,000	学生1万人	新規スタッフ250、臨時職1千	ナイジェリアの大学トップ10にABUAD がランクイン
スキル開発と企業家精神プロジェクト－女性と若年層の支援：スキル開発と企業家精神を通じた雇用創出、男女平等の推進、貧困削減	教育と職業訓練	ザンビア	USD	35,250,000	30,000,000	若者・女性1万7千人の極度の貧困を改善	失業率を42.2%から32%に削減：中小企業1千社と学校10校	中小企業の生産性と競争力の改善；農家の収入と雇用を拡大
送・配電網強化プロジェクト－工業化と生活環境改善を通じた経済構造改革の加速化	エネルギー供給	コートジボワール	EUR	162,141,176	137,820,000	140万人(女性51%)	3,020の新規雇用(女性32%)	252地域の電化により不安と森林への負荷を削減
ラストワンマイル接続プロジェクトII－ケニアの低所得人口の電力アクセスを改善	エネルギー供給	ケニア	USD	153,840,000	134,640,000	一般顧客28万5千人と法人顧客1万5千件	実施中に2,500の新規雇用	顧客数678万5千件を達成
中央アフリカ基幹プロジェクト－カメルーンにおけるデジタル経済の台頭促進によって経済の多様化に寄与	ICT	カメルーン	EUR	46,301,000	37,304,000	2,604,248人	機器操作の関連	一般家庭と事業者の通信・ICTサービスへのアクセス改善
デジタル技術パーク－セネガルにおける経済成長とインクルーシブな成長のためICTへの貢献を拡大	ICT	セネガル	EUR	70,610,000	60,960,000	多様なICT分野の3万人(若者・女性・企業家)	2025年までに直接雇用3万5千(女性40%)、間接雇用10万5千(女性35%)を創出	新たに500社がICTセクターに関与

給水と公衆衛生

セネガル - ルーガ〜ティエス〜ダカール道路における Keur Momar Sarr 処理施設からの複数用途給水の強化

事業費: 4億2,300万ユーロ - AfDB 融資額: 6,500万ユーロ

承認: 2016年11月

調印: 2016年12月

完成予定: 2021年12月

飲料水へのアクセス改善、産業活動の強化、農業生産の支援。3番目となる水処理施設（1日当たりの処理能力10万立方メートル）、給水パイプライン216キロメートル、貯水池2カ所（容量1万立方メートル）、配水池3カ所を建設する。また、給水網を792キロメートル延長し、8万5千カ所のソーシャル接続を設置する。

- 直接の受益者数: 農村部居住者**300万人**の飲料水の供給アクセスを改善
- 農民、市場向け野菜栽培者、青果販売者など**2万人**の生産者を支援、うち48%は女性
- 農業において**3万超**の正社員職を創出
- **5,150の雇用創出**（建設期間中に5千、正社員職を150創出）
- 農業と市場向け野菜生産の支援施設により10万人に恩恵（うち60%が女性、20%が若者）
- 市場向け野菜生産を2035年までに30%拡大
- 飲料水の可用時間が従来の1日当たり6時間から24時間に拡大



農業と食糧安全保障

カメルーン－農業バリューチェーン開発プログラム

事業費：1億1,500万ユーロ－AfDB融資額：8,900万ユーロ

承認：2016年1月

調印：2016年10月

完成予定：2022年1月

農村部インフラと穀物セクター開発を通じて、油やし、バナナ、パイナップルの農業バリューチェーンの競争力を強化することで、以下を見込む：

- ✓ 食糧安全保障
 - ✓ 農民の所得向上による富の創造
 - ✓ 企業家精神の支援を通じた雇用創出（特に若年層）
-
- 直接の受益者数は24万2千人（農産業に従事する農民や若年の学位保持者）
 - 農村社会の100万人が間接的に受益
 - 農業GDP成長率が、2014年の5%から2025年には8%に上昇
 - 農村インフラ開発：地方道路1千キロメートル、倉庫30棟、農村市場15ヵ所、配電網30キロメートル、給水システム30セットの建設
 - 若年の学位保持者1,500人に向けて、アグロビジネスにおいて600事業を創出、与信へのアクセスも付与
 - 年間所得の増加は、1世帯当たり1,500米ドル、若年企業家は1万米ドル



教育と職業訓練

ナイジェリアーババロラ大学拡張計画

事業費：4,000万米ドル－AfDB融資額：4,000万米ドル

承認：2016年10月

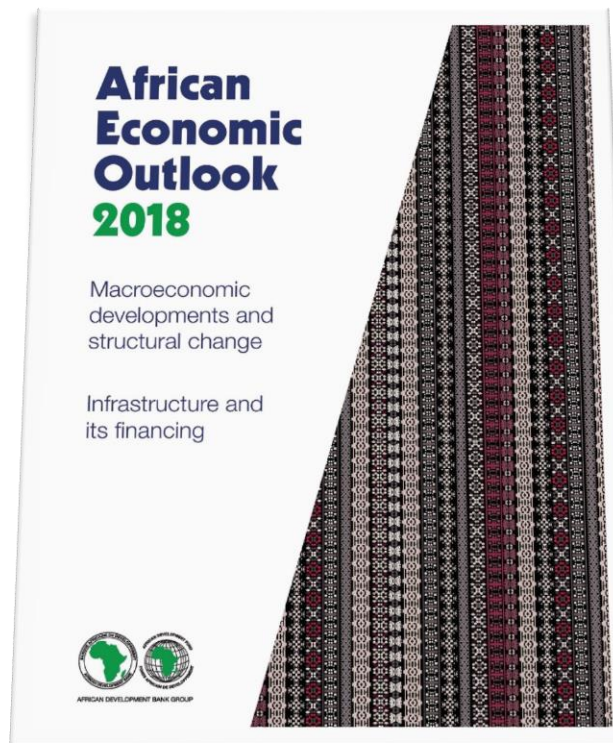
調印：2017年6月

医学部に400床のティーチングホスピタル、産業リサーチパーク、大学院、学生向け宿泊施設、中央図書館、小規模水力発電施設を建設。2014年には、要件を満たす学生のうち大学に入学できたのはわずか30%（定員の制約により100万人以上が大学で学ぶことができなかった）。また、大学が提供する研修の品質が低く、卒業生の75%以上がフルタイムの仕事に就いていない。

- 農民向け研修プログラムの強化により2,400人以上の小規模農家に恩恵
- 高品質な教育へのアクセス向上を、年間1万人以上の学生に実現、また2025年までにその数を倍増
- 高品質で雇用可能な卒業生を1万2千人輩出
- 正社員職250と臨時職1,000を創出
- 学生500人以上に奨学金を給付



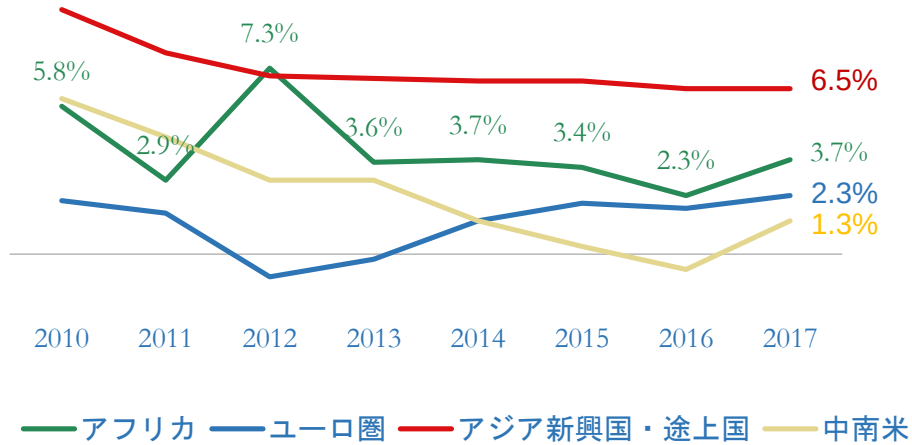
アフリカン・エコノミック・アウトルック



ますます勢いのあるアフリカ経済

GDP成長率

世界的に深刻な環境下で
回復を見せている



農作物生産の改善



域内需要の持続と輸入代替



コモディティ価格の回復（特に石油・金属）

SDGsターゲットを達成するには、二桁台の成長が必要

実質生産は増加

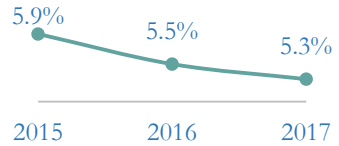
- マクロ経済管理の改善
- 世界経済情勢の改善
- 賢明な政策枠組み

但し、課題も残っている

- 生産構造改革のペースが遅い
- コモディティ価格は回復しつつあるが、スーパーサイクル（長く続いた強気相場）の水準には届かない
- 世界的な金融引締めによる流動性抑制
- 政治リスクの出現
- 保護主義の拡大

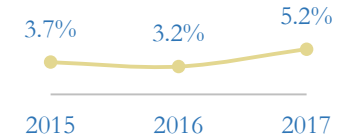
経済成長にも関わらず雇用が回復しないという問題点も残る

アフリカ各地で明るい成長見通し



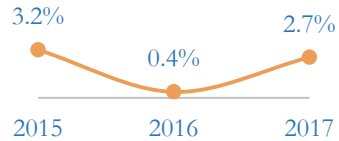
先頭を行く 東アフリカ

- エチオピア、ジブチ、ルワンダ、ウガンダ、ケニアに牽引され、最も成長著しい地域。農業・産業が好調。
- 2018年、2019年は楽観的な予測。



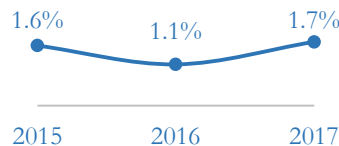
二番目に好調な 北アフリカ

- 経済・財政改革に伴い、エジプト、リビア、モロッコ、アルジェリアが大いに地域の成長に貢献。
- 2018年、2019年は楽観的な予測。



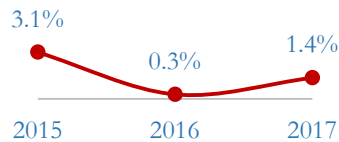
西アフリカ 対照的な様相

- コモディティに依存しており、価格変動の影響を受けやすい。
- 2018年、2019年に成長加速が予測されている。ナイジェリアの成果が確立し、コートジボワール、ガーナ、セネガルが地域の成長拡大に貢献。



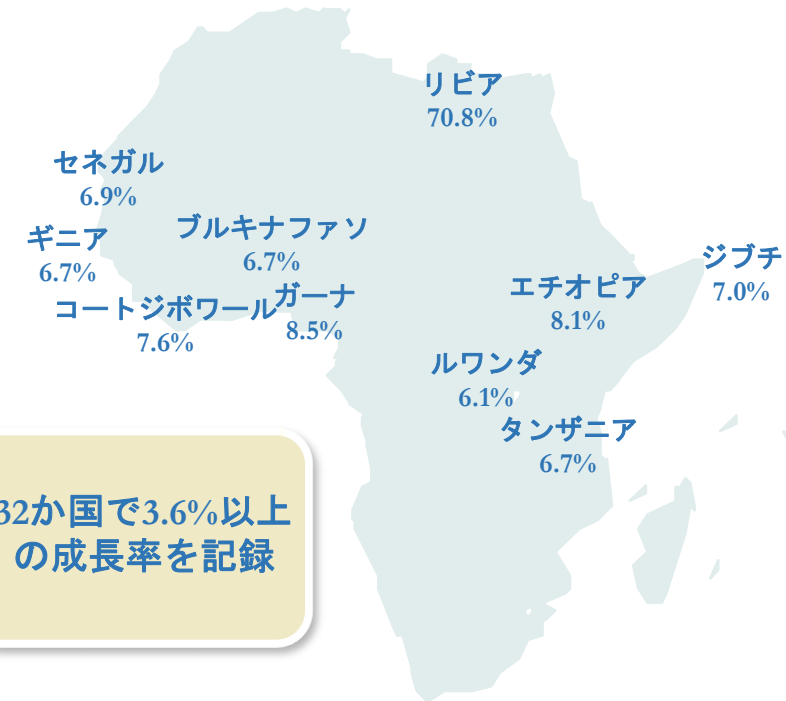
アフリカ南部 潜在力が発揮できていない

- ボツワナ、マダガスカル、モザンビーク、ザンビアが成長を牽引。他方、地域の経済大国である南アは、サービス・産業が成長しているものの干ばつにより農業が収縮し、潜在力を発揮できていない。
- 2018年、2019年の予測：貧困削減のためにはより高い成長率が必要。

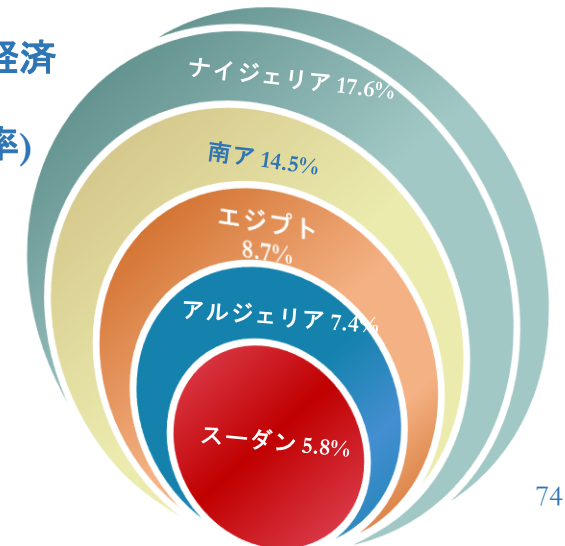


アフリカ中央部 控えめな経済成長

- コンゴ（共）、赤道ギニアで生産が伸びず経済が停滞。
- 強靱な地域経済が、2018年、2019年の改善のための道を開く。



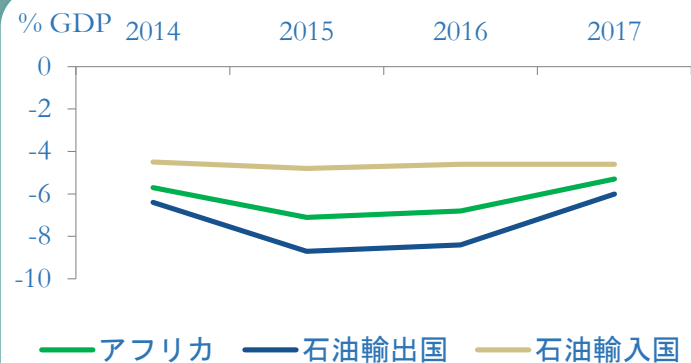
アフリカの経済 大国 (経済成長率)



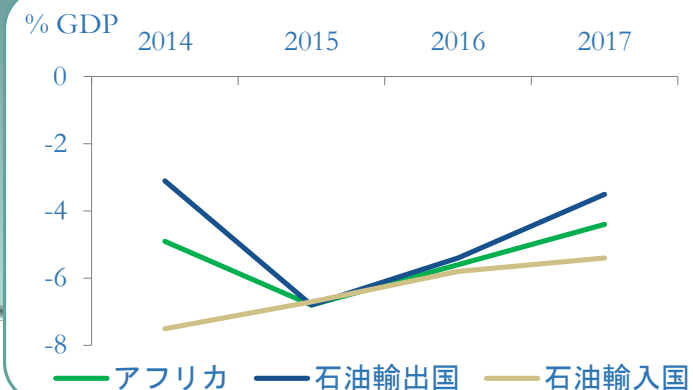
ほとんどの国で成長の伸びしろが大きい

楽観的な経済トレンドと根深い問題

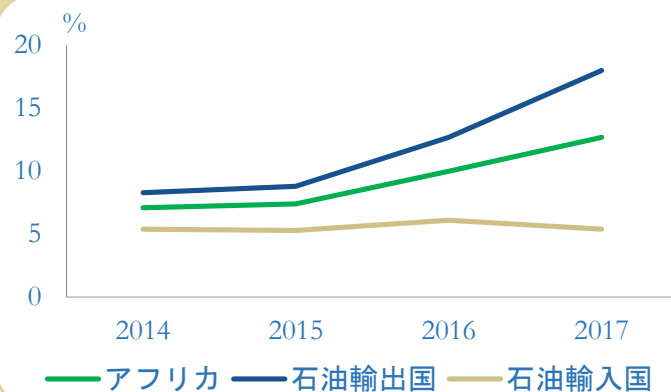
補助金を含む財政赤字の縮小



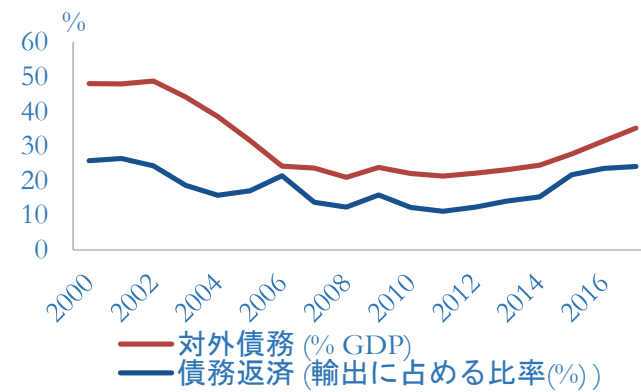
一部の国では経常収支が悪化



為替の下落や過去の財政赤字の拡大に伴うインフレの急激な加速



アフリカの国の60%では過剰債務リスクは低いか中程度

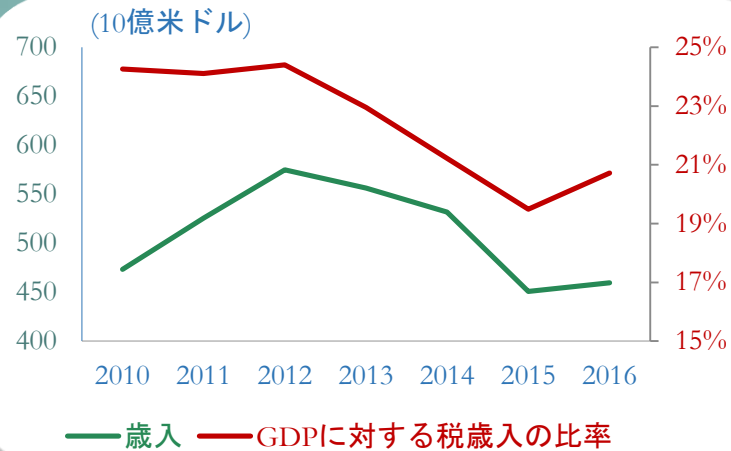


但し、対外債務比率は注意深くモニターする必要。

国内での資金調達の改善が大いに必要



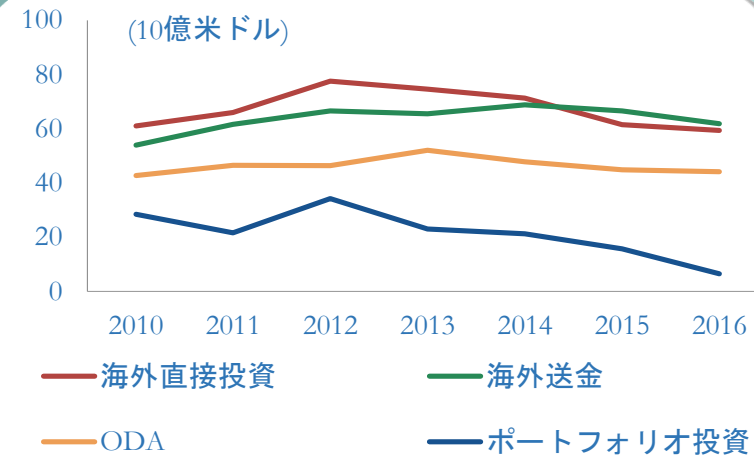
GDPに対する税歳入の割合は25%の閾値に満たない



更なる税制改革やより良い歳入制度が必要



外国からの資金に大きく依存



公共支出を合理化し、社会経済的成果を維持

海外直接投資は採取、インフラ、消費者向け産業が主

海外送金は最も安定した資金源

政府開発援助（ODA）は徐々に減少

ポートフォリオ投資は変動が大きく十分でない。
資本市場が未成熟

...反復継続的な資金調達、資本調達ニーズにおいて重要

アフリカ 次の投資フロンティア

経済多角化を推進するため構造改革が急務

貧困層のエンパワメント

- 規制環境の改善
- 賃金の助成
- 外国投資誘致



雇用創出

- 労働集約型産業へのシフト
- 農業セクターの近代化
- グローバル・バリュー・チェーンへの参入



インフラ投資

- 持続的成長とインクルーシブな開発にとって重要



年間インフラ
ニーズ

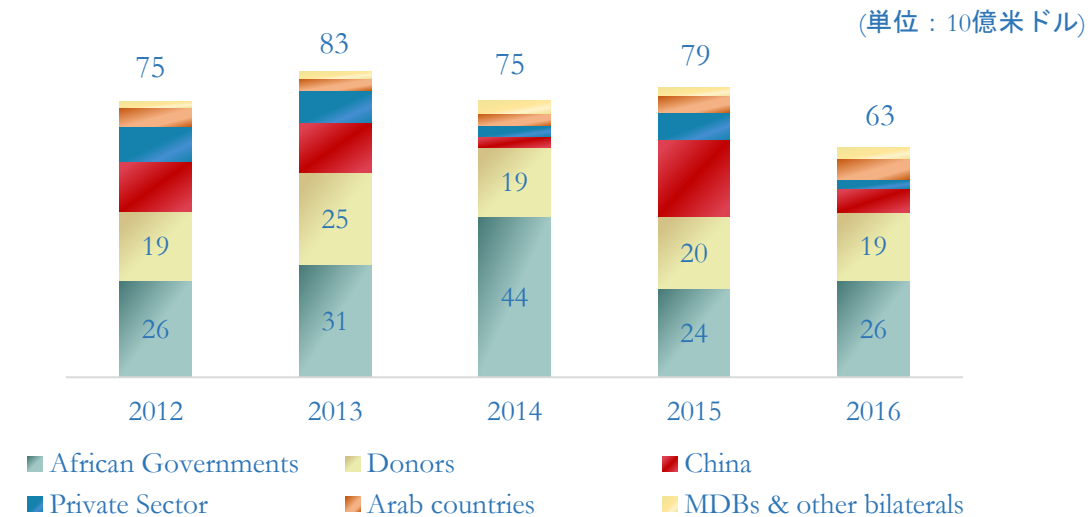
1300-1700
億米ドル

年間資金
ギャップ

680-1080
億米ドル

世界の何百兆米ドルもの貯蓄が投資機会を探し求めている

しかし、インフラファイナンス額は近年減少している



アフリカには、その強みを活用するポテンシャルがあります。

よくある質問

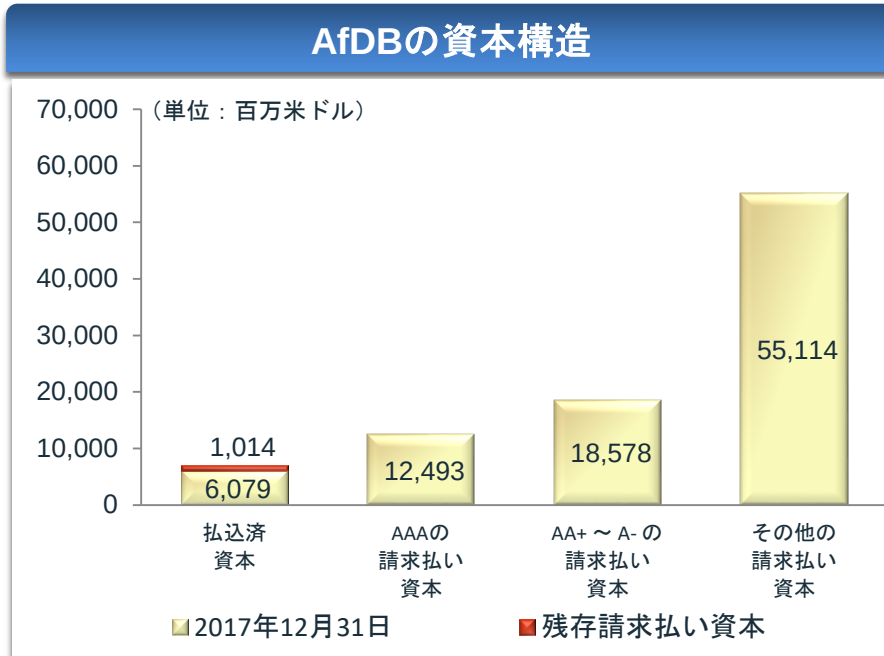
よくある質問

1) AfDBとADFの関係は？	80
2) AfDBの資本構造は？	81
3) 資本の払込請求の手続方法は？	82
4) 投資ガイドラインは？	83
5) 純利益 vs 配分可能な利益	84
6) AfDBの信用ポリシーは？	85
7) AfDBの貸出限度額は？	86
8) 融資の適格基準とは？	87
9) AfDBの融資承認プロセスとは？	88
10) AfDBの融資金利とは？	89
11) AfDBの株式投資方針とは？	90
12) 株式投資の適格基準は？	91
13) 最大の想定エクスポージャーは？	92
14) 国別のソブリン及びノンソブリンポートフォリオの分布は？	93
15) 北アフリカへのエクスポージャーは？	94
16) エクスポージャーの交換に関する合意とは？	95
17) 優先債権者の地位（PCS）とは？	96
18) AfDBの不良債権とは？	97
19) 債務償却に関するポリシーとは？	98
20) 脆弱な状態とは？	99
21) アフリカにおける現場でのプレゼンスは？	100
22) AfDBの統合セーフガードシステムとは？	101
23) 倫理的なビジネスプラクティスとは？	102
24) 採取産業透明性イニシアティブとは？	103

AfDBとADFの関係は？

- ❑ アフリカ開発銀行（AfDB）とアフリカ開発基金（ADF）はそれぞれ AfDB グループの事業体で、法的かつ財務的に独立しており、資産及び負債も区別されている。
- ❑ アフリカ開発銀行(AfDB)はアフリカ地域の最も信用性の高い諸国及び有望なセクタープロジェクトに融資する資金を資本市場で調達する格付けされた事業体である。
- ❑ アフリカ開発銀行(AfDB)はアフリカ地域の最も信用性の高い諸国及び有望なセクタープロジェクトに融資する資金を資本市場で調達する格付けされた事業体である。
- ❑ AfDB はADFに出資しており、毎年純益からADFに拠出している。AfDB 及び ADF は互いのいかなる負債に関しても一切の責任を負わない。両機関はそれぞれ独立した事業体であるため、両機関間でエクスポージャーの移動はできない。

AfDBの資本構造は？



6%の払込済資本を含む
200%の増資で、
資本額は約1,000億
米ドルまで増加

当行のフランチャイ
ズ価値、主要な健全
性レシオ、AAA信用
格付けを強化

請求払い資本 (callable capital) は、
財政難の場合に、各株主がAfDBに追加資金を提供する
ことのコミットメントである

株主の強力な支援を示す

将来的に増加する需要を
満たし、事業の成長計画を
支援する能力

当行の請求払い資本
が請求されたことは
ない

資本の払込請求の手続方法は？

目的

- 請求払い資本（Callable Capital）は、引き受け資本の一部であり、借入金又は保証に関するAfDBの義務を果たす場合に限り払込請求が可能。

メカニズム

- 支払は関連する加盟国により金、交換可能通貨又は払込請求を基礎づけるAfDBの義務を遂行するために要求されている通貨で行われなければならない。
- AfDBは加盟国に対し、請求払い資本の払込請求の際には、AfDBがニューヨークの連邦準備銀行又はその目的のために正式に指名された後継機関に設定した特別口座にかかる払込請求に応じて支払をするよう求める契約を締結している。
- かかる口座の条件では、払い込まれた資金は、まず上位債務の発行に関連してAfDBが負っている債務残高のすべての返済又は全額清算のための引当金に充当し、その他のいかなる返済にも優先すると規定されている。

独立義務

- 請求払い資本の払込請求は、自己資本のすべての株式の比率に対して均等であることが要求されているが、かかる払込請求に対して支払を行う加盟国の義務はそれぞれ独立したものである。
- かかる払込請求に対する支払について1カ国又は複数の加盟国が不履行となった場合でも、その他の加盟国は支払義務から免れない。当行の義務を果たすために必要であれば、債務不履行をしていない加盟国に対して追加の払込請求ができるが、いかなる加盟国も通常の出資の未払残高を上回る支払を要求されることはない。

投資ガイドラインは？

投資の種類	最低格付け	最大満期	流動性ヘアー・カット
政府／政府系機関／国際機関	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	30 年 15 年 1 年	AAAは0% AA+からAA-は20% A+からA-は40%
銀行及び金融機関	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10 年 5 年 6ヵ月	AAAからAは50% 100%以下
法人	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10 年 5 年 6ヵ月	AAAからAは50% 100%以下
MBS及びABS	AAA/Aaa	40 年	100%

純利益vs配分可能な利益

総務会承認の利益配分に関する決定は、配分可能な利益に基づいて行われる

(単位：100万米ドル)	2017	2016	2015	2014	2013
総務会承認の配分前の利益	368	161	129	220	278
総務会承認の利益配分	117	128	172	174	166
純利益	251	34	-43	46	112

配分可能な利益は、借入及び関連デリバティブの未実現損益並びに換算損益によって調整された当該年度の配分前利益を表す

(単位：100万米ドル)	2017	2016	2015	2014	2013
総務会承認の配分前の利益	368	161	129	220	278
調整対象:					
- デリバティブと借入の未実現損益	75	106	69	43	-53
- 換算損益	2	-1	-20	6	-21
- マクロヘッジスワップの公正評価損益	3	7	13	19	29
配分可能な利益 (利益 - 調整)	311	273	190	287	234

総務会の承認を受けた開発イニシアティブへの配分は、配分が承認された年度の損益計算書では経費として計上される

(端数処理の関係で合計数値が合わないことがあります)

AfDBの信用ポリシーは？

AfDBグループの信用ポリシーによると、以下2つの基準に基づいて、域内加盟国（RMC）のアフリカ開発銀行、アフリカ開発基金またはその両方への適格性を判断する。:

- 1人当たりの国民総所得が一定基準値以上
- 非譲許的借入を行うことができる信用度

信用度アセスメントに加え、当行は全アフリカ加盟国について国際的な大手格付け機関に認められたソブリン格付けモデルに基づいて年次内部格付けを行っている。ソブリン格付けは年間を通じて継続的に監視され、国のファンダメンタルに変更がある場合には格付けの変更もあり得る。また、これらは当行信用リスク委員会のレビューを受け、承認される。

2018年4月現在、ソブリン融資を受けられるのは次の21カ国である：アルジェリア、アンゴラ、ボツワナ、カメルーン、カーボヴェルデ、コンゴ、エジプト、赤道ギニア、ガボン、ケニア、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、セネガル、セーシェル、南ア、スワジランド、チュニジア、ザンビア。ナイジェリアは2014年にブレンド国からAfDBの融資のみを受けられるカテゴリーに移行したが、当行グループ信用ステータス変更がなされる国々に係る枠組みに基づき5年間の移行期間が設けられる。ナイジェリアは2019年1月1日以降はADF資金を受けられないことになる。

2014年、当行は、ADF適格国の経済開発需要に積極的に対応することを目的として、信用ポリシーに柔軟性をもたせる改訂を行った。この改訂により、このカテゴリーの国々に対し個別事案に応じて、AfDBの公的窓口から革新的プロジェクトに対し資金を提供することができる。AfDBのソブリン融資を受けるためには以下の基準を満たす必要がある。

- (i) IMF/世銀の債務持続性評価（DSA）が定義する過剰債務リスクが低程度から中程度の国として分類されていること
- (ii) IMFのDSAが定める非譲許的借入を受ける余裕が当該国にあること
- (iii) 当該国のマクロ経済が、特別リスク評価の基準に照らして持続可能な状態であること
- (iv) 貸付要請が、域内加盟国のためのリスクアセスメントに基づき、当行の信用リスク委員会から承認を受けること

2018年3月現在、2014年に改訂された信用ポリシーの規定により、次のADF適格国がAfDBのソブリン融資を受けることが可能である：ベナン、ブルキナファソ、コートジボワール、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ

AfDBの貸出限度額は？

予測されるリスクから確実にAfDBを保護するという最も重要な目的のため、AfDBの事業には複数の制限を設けている：

- 公共部門の事業はリスク総資本* の45%
- ノンソブリン事業はリスク総資本の45%
- 市場リスク及び管理リスクはリスク総資本の10%

制限	定義	比率
カントリー制限	単一国に割り当てられる総資本額	当行のリスク資本の15%
セクター制限	単一セクターに割り当てられる総資本額	セクターに関わらず、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の25% 金融サービスセクターは、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の35%
単一名制限	単一カウンターパーティーに割り当てられる総資本額	民間セクターのリスク資本の6%
資本参加制限	資本参加	リスク総資本の15%
クレジットライン制限	信用供与枠	借り入れる銀行のエクイティの最大50%まで

* リスク資本は、払込済資本と準備金とに定義される。

融資の適格基準とは？

公共部門

適格国かの判断は、1人当たりの国民総所得と信用度の2つの柱に基づいて行う。

2018年4月現在のソブリン貸付の適格国は、アルジェリア、アンゴラ、ボツワナ、カメルーン、カーボベルデ、コンゴ、エジプト、赤道ギニア、ガボン、ケニア、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、セネガル、セイシェル、南アフリカ、スワジランド、チュニジア及びザンビアの21カ国。適格国のリストは、国政状態に応じて定期的に見直され、適格国への追加または除去は理事会で決定する。

また、当行は世界的大手の格付け機関が認めるソブリン格付けモデルに基づいてアフリカ地域の全加盟国の内部格付けを毎年実施している。ソブリン格付けは年中監視されているが、国のファンダメンタルズが変わる場合には変更することがあり、その場合には当行の信用リスク委員会の承認が必要である。

民間セクター

当行は、54カ国の域内加盟国の商業的に有望な民間セクター事業のみに貸付を実施している。商業的に存立する可能性やリスクは内部格付モデルに基づいて概算される（内部格付モデルは国際的な大手格付機関の支援の下、定期的に見直される）。格付けは毎年最低1回は見直され、積極的な改善策がタイムリーに実行されるよう継続的にモニタリングされる。

当行は内部格付けが「5」以下（国際基準の「B-」に相当）のプロジェクトには貸付をせず、格付けが「5」以上（数字上）の場合は次の条件を満たす必要がある：1）臨時理事会の承認、及び2）限度額は当行の資本金の10%であること。また、当行は単名エクスポージャー（リスク資産総額の6%）及びセクターエクスポージャー（民間セクター事業に割当てられるリスクキャピタルの25～35%）を管理するため、限度額を設定している。

当行は、民間セクターの事業に関する事前追加性及び開発成果の評価（ADOA）のための枠組みを使用している。設定された基準となる開発成果指標により、追跡、モニタリング及び事後評価が容易になる。

AfDBの融資承認プロセスとは？

AfDBには、介入する分野を決定する際に、10ヵ年戦略の一環として明確な中核的事業優先事項と分野横断的なテーマがある。プロジェクトは、すべて同一の内部承認プロセスを経る。

1. プロジェクト草案の作成 - プロジェクト草案（PCN）とは、融資を受けるプロジェクトの主な特徴を簡潔かつ分析的に示すために作成される文書である。その主たる目的は、プロジェクトの査定及びデュー・デリジェンスを進めるか否かを、管理職が詳細な情報を得た上で判断できるようにすることである。PCNの第一段階の審査を担うのは、査読者及び当行の幅広い関連部署から引き抜かれた専門家から構成されるプロジェクト査定チーム（PAT）のメンバーである。PCNは、最終的にカンントリーチームによる審査及び議論を経る。カンントリーチームは取引が計画性を持っているか、構造及び方向性が当行の戦略と開発優先事項に準拠しているかを判断したり、プロジェクトが技術的に健全で商業化が可能かを明らかにする。PCNは（地域責任者が議長を務める）カンントリーチームの認可後、最終的な認可を得るために（当行の副総裁・最高執行責任者が議長を務める）事業委員会に引き継がれる。しかしながら、1億UA以上の資金、風評リスク、非常に革新的な設計を含んだ場合などの特定の状況に対応した一部のプロジェクトのPCNは、（当行グループの最高リスク管理責任者が議長を務める）信用リスク委員会による事前の審査を受けなければならない。信用リスク委員会は、最終的な認可が行われる前に事業委員会に対して信用リスクガバナンス、信用評価及び格付け変更の承認に適用可能な勧告を行う。これに続き、事業委員会は、事業の技術的詳細を中心にプロジェクト草案を包括的に審査する。この段階で特に重要なのが格付けである。この段階でプロジェクトが認可された場合、PATは査定及びデュー・デリジェンスを行うためにプロジェクト査定ミッションに移り、その場でプロジェクトを評価する。同時に、当行のリスク管理部が独自のプロジェクト信用評価を行い、サマリー・クレジット・ノートを作成する。

2. プロジェクト査定段階 - デュー・デリジェンスの完了時にプロジェクト査定報告書が作成される。その後、カンントリーチームと同等のプロジェクト査定チーム内で議論される。カンントリーチーム内でのプロジェクト査定報告書の議論は、さらなる信用評価に関する勧告を行うために信用リスク委員会が行う審査の後に行われるものである。カンントリーチームによる認可後、プロジェクト草案は事業委員会に送付され、承認を得るため理事会に提出される。

3. 理事会の承認 - 最終承認は理事会の判断に委ねられる。理事会は、プロジェクト査定報告書及びリスク管理部が作成した独立した理事会信用覚書報告書に基づいて決定する。承認（及び出資）後も、当行のリスク管理部が定期的に全てのプロジェクトを評価及び査定を実施し、内部リスクの格付けも定期的に更新される。

AfDBの融資金利とは？

	完全フレキシブル ソブリン融資及び ソブリン保証付融資	ノンソブリン融資
通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨
満期	最長25年（最長8年の猶予期間）	最長15年（最長5年の猶予期間）。長期間に及ぶ満期も個別に検討可能。
貸出利率	基準金利（変動又は固定）＋資金調達コストマージン＋貸付スプレッド（80bps）＋期間プレミアム	基準金利＋貸出金利のマージン
基準金利	変動または固定	変動基準金利、固定基準金利またはすべて込みの資金コスト（現地通貨での貸出用）
貸付金利の マージン		AfDBのノンソブリン金利枠組みに沿ったプロジェクト固有の信用リスク格付けに基づく。マージンには信用リスクプレミアム（不履行確率及び不履行時損失率から算出）及び集中リスクプレミアムが含まれる。
期間 プレミアム	融資の平均最長満期による（12.75年未満は0bps、12.75年以上15年未満の平均満期は10bps、15年以上の平均満期は20bps）	
手数料	25bpsの約定手数料及び25bpsの当初手数料	- 当初手数料 1% - 査定料 0～1% - 約定手数料 0.5～1%
返済条件	猶予期間の満了後、元本の均等払い。これ以外の返済条件も検討可能。	猶予期間の満了後、元本の均等払い。これ以外の返済条件も検討可能。
オプション ナリティ	借り手は基準金利の固定、解除及び再固定が可能。基準金利に関してはキャップとカラーが利用可能。融資の支出部分及び未支出部分に関して通貨換算が可能。	

AfDBの株式投資方針とは？

AfDBは、開発効果の原則に導かれるAfDBの触媒効果を最大化する適切な運用を選択するために、事前に定義された適格基準を適用している。

目的：

- 株式投資の目的は、AfDBへの財務リターンに加え次のことを促進することにある。(a)生産的事業のローカルオーナーシップ、(b)資源の有効利用、(c)域内の経済協力及び経済統合、(d)国内又は準地域の経済の多角化及び近代化を目的とした、新たに出現した重要な経済セクターにおける起業家のリスク負担、(e)アフリカの中・大規模企業の競争力を強化する手段としての、コーポレートガバナンス、経営管理及び企業責任におけるベストプラクティスの基準、(f)社会経済基盤、製造業、農業ビジネス、食糧安全保障及び金融セクターの発展など、経済に極めて重要なセクターへの国内、地域及び海外の直接投資資源の動員。

適格性：

ノンソブリン事業はAfDBの投資先として考慮される資格をもつ域内加盟国で実施できる。

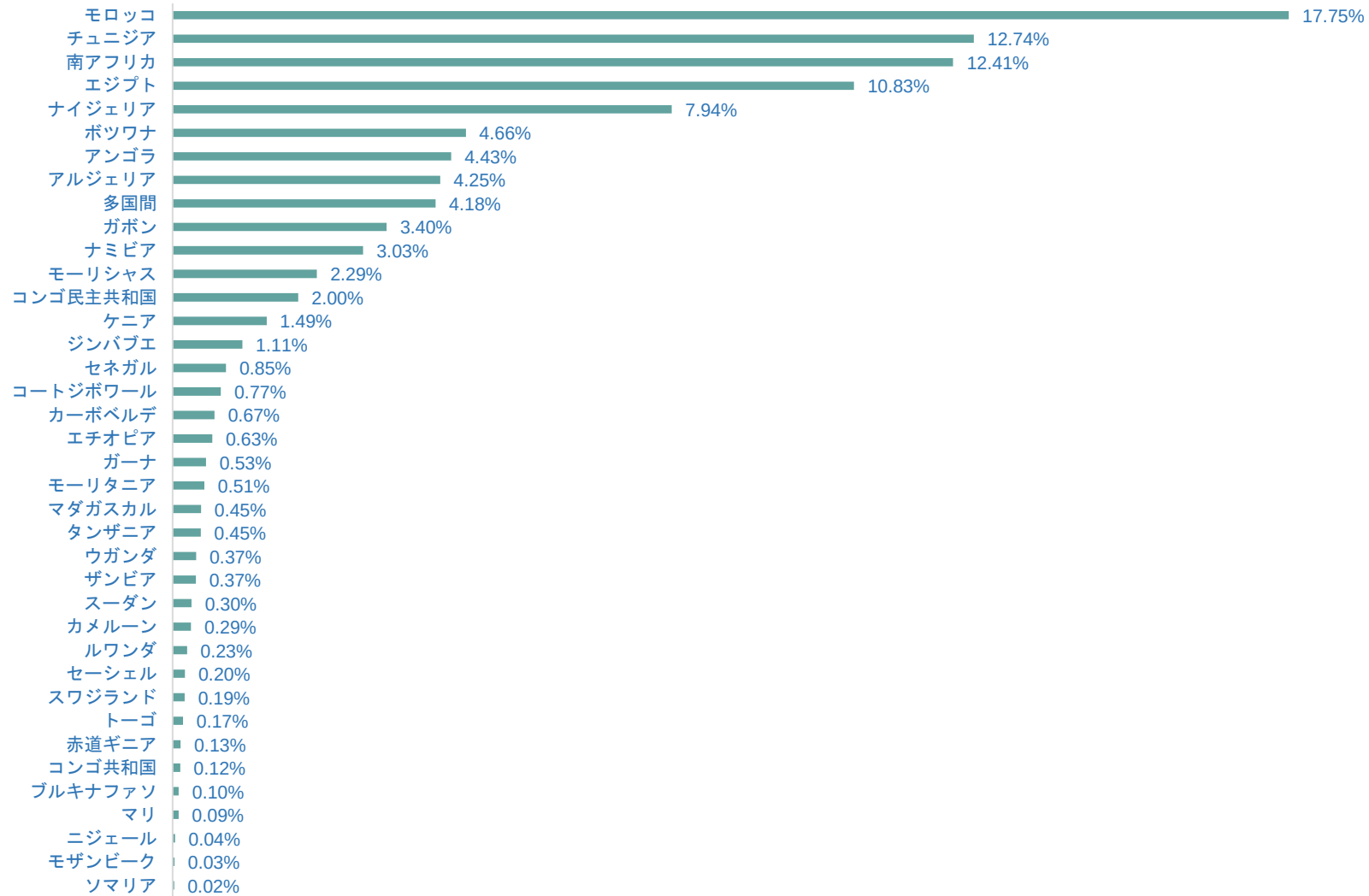
- すべての経済セクター及びサブセクターは当行の投資先となりうるが、次のものは除く。アルコール飲料、タバコ及び高級品の生産。武器、爆弾及びその他の軍事又は準軍事目的で使用する商品の生産又は取引。原子炉とその関連商品、アスベスト繊維並びに有害物質の生産、取引又は使用。国際条約（CITES）で規制されている野生生物及び野生生物製品の取引。プラチナ、真珠、貴石、金及びそれら関連製品の投機売買又は投資。賭博、カジノ及び同等の企業。管理されていない主な熱帯雨林における伐木機械の使用。有害又は搾取的な強制労働及び／又は児童労働を伴う経済活動。主催国の法令又は国際条約及び国際合意により違法とみなされる製品の生産もしくは取引又は活動。

株式投資の適正基準は？

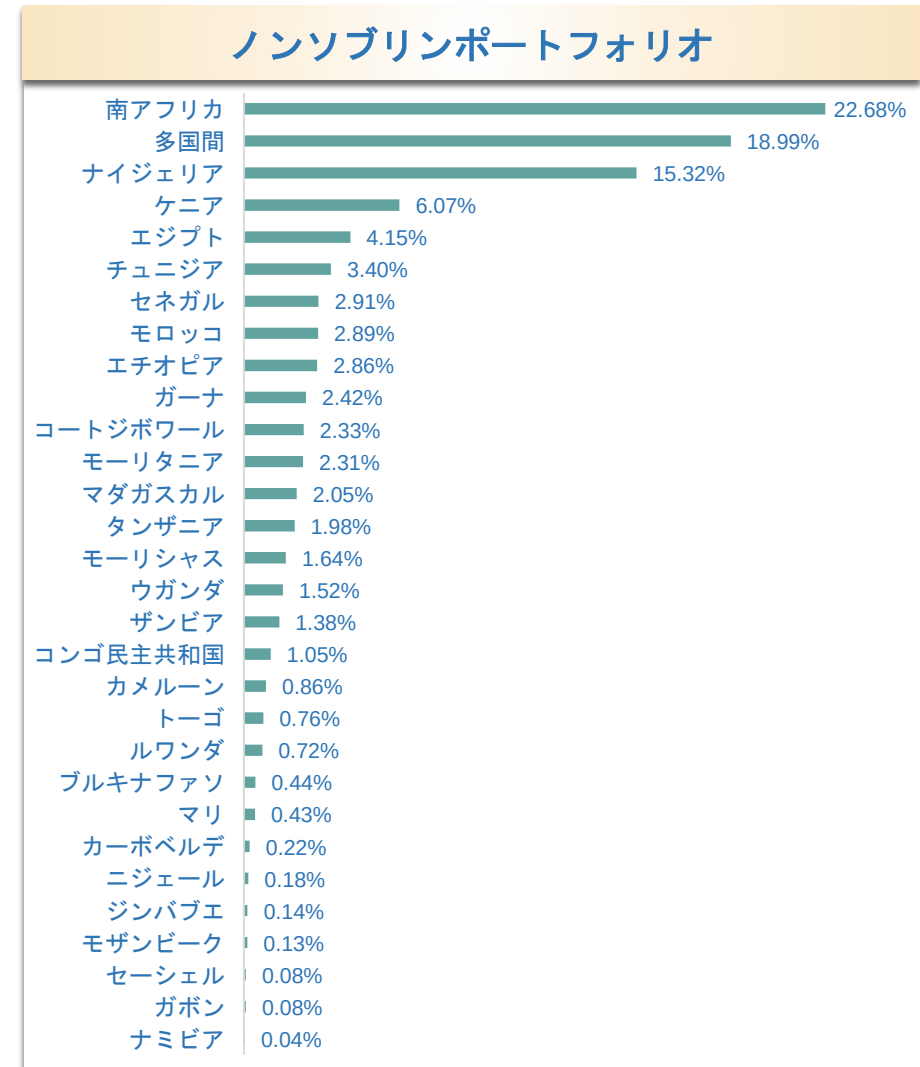
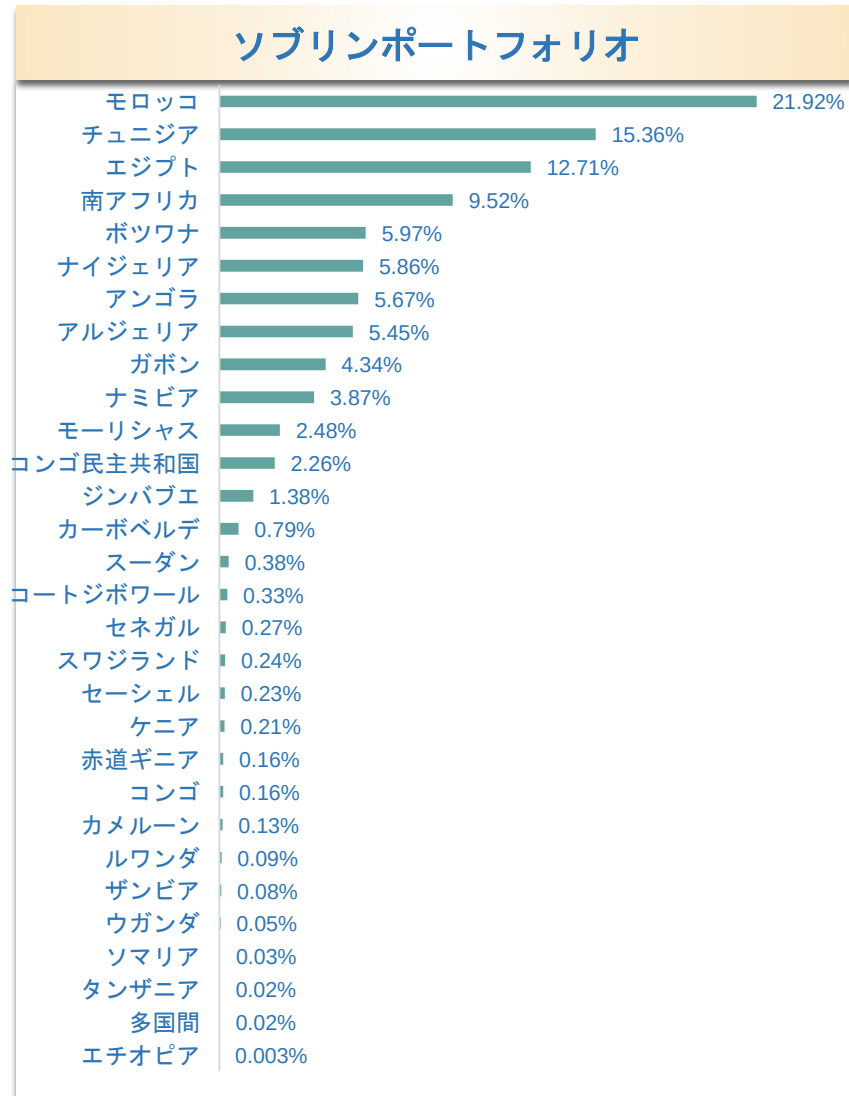
戦略上の適合性	ノンソブリン事業は、AfDB（10ヵ年戦略2013-2022と後継のHigh 5s「5つの最優先分野」）、及び域内加盟国（国別戦略報告書と地域統合戦略報告書）の戦略的方向性や優先順位に適合しなければならない。
信用度	潜在的投資先は、有能な経営陣及び良好なコーポレート・ガバナンスの下、運営されていなければならない。また当該投資先は、優良な環境及び社会責任の実績又は証明力、有望なビジネスモデル並びに現実的な企業戦略を伴いAfDB及びその他の投資家への償還に十分な収益をあげる能力がなければならない。
商業的に存立する可能性	資本参加は配当金の支払い及び、又は利益準備金を維持する良好な見込みがあり、期待される十分な経済的内部収益率及び財務的内部収益率をあげられなければならない。
投資収益率	単一の投資に対する投資収益及びその株式ポートフォリオの評価において、当行は投資に関する財務的内部収益率（FRRI）を計算する。当行は、将来の投資毎に予想されるFRRIを計算する。かかるFRRIは、同一の投資先に対してシニアローンを貸し出す際に使用する率に対して適切なプレミアムを示すべきである。
出口戦略	AfDBは、達成可能な「出口戦略」が定められ、他の主要株主と合意された場合にのみ、株式投資を承認する。
開発成果	最後の貸し手という立場で、AfDBは、顧客が受領者にとって合理的とみなされる条件でAfDB以外から融資を受けられると思われる場合、ノンソブリン事業に融資を提供しない。
AfDBの追加性	AfDBは、その役割が、民間セクターの資金源から提供される資源に対して「追加的」である場合にのみ、取引に参加する。すなわち、AfDBの参加が次のことを提供する場合である：(a)政治的リスクの緩和、(b)融資期限の延長及び資本市場の発展の促進を含む、財政的追加性、並びに(c)開発成果の向上。「追加性」の評価に際しては、特に当該事業にAfDBが参加していなければ行われなかったであろう追加的な協調融資へのてこ入れ、及び経済の関連セクターへのその他の投資の促進におけるAfDBの役割に焦点が当てられる。
投資規模	AfDBは、投資先企業の経営権を取得することを目的としていないため、その資本参加はその投資期間を通して企業の総資本の25%までに制限されている。
民間投資ファンド	次の要素に基づいて評価は行われる：(a)財務の健全性及びファンドの過去の実績、(b)投資戦略及びリスク管理、(c)産業構造、(d)経営及びコーポレート・ガバナンス、並びに(e)情報品質。

最大の想定エクスポージャーは？

連結ポートフォリオ



国別のソブリン及び ノンソブリンポートフォリオの分布は？



2017年12月31日現在

北アフリカへのエクスポージャーは？

(単位: 百万米ドル)

国	現在残高	未実行残高	想定エクスポージャー
チュニジア	3,223	704	3,937
エジプト	2,749	163	2,913
モロッコ	4,504	863	5,367
アルジェリア	1,079	-	1,079
リビア	-	-	-
北アフリカ合計	11,565	1,731	13,290
AfDB合計	25,381	10,226	35,607
エクスポージャー の割合	46%	17%	37%

2017年12月31日現在

エクスポージャーの交換に関する合意とは？

2015年、AfDBは、貸借対照表の最適化、ソブリン集中リスクの軽減、及び貸付枠の増加を実現するためにローン・ポートフォリオのリスク管理を目的に、他の国際開発金融機関(MDB) とエクスポージャーの交換に関する契約(EEA)を締結した。

EEAは、各国に対して総エクスポージャーの最低50%を持つ各参加MDBとの間で、定められたソブリン信用エクスポージャー(defined sovereign credit exposure)に関する同等の信用リスクを同時に交換する内容を含む。ソブリン融資を創出したMDBは、引き続き契約上の貸し手となる。

2025年に定額償却を開始し、
2030年に満期

購入／売却された信用保証の
名目元本45億米ドル

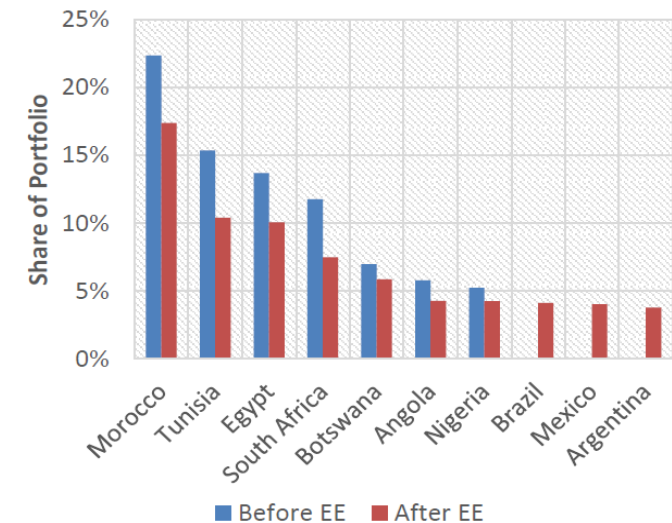
交換されたエクスポージャーの額として支払われたプレミアムがないということは理論上、当初の状態と同じ。

他の域内MDBと同様に、AfDBの信用格付けは集中リスクの影響を受ける

最初のEEAは、いずれもAAA格付けを受けているIBRDとIADBとソブリン集中リスクを軽減する目的で締結

EEAは融資能力及び自己資本比率を大幅に改善

- 売主は、買主が参照ポートフォリオ内の全部又は一部の債権の償却又は再編を行った場合、買主に対して元金を支払うことのみ求められる。
- 経験上、滞納金は常に清算されるため、MDBが滞納金を償却することはほとんどない。
- 2017年12月現在、これらのEEAに含まれるいかなるエクスポージャーに関してもデフォルトは発生しておらず、当行は引き続きそのソブリンエクスポージャー及びソブリン保証エクスポージャーの完全な回収を見込んでいる。



優先債権者の地位（PCS）とは？

公共セクターのエクスポージャーにおいて、優先債権者の地位(PCS)とは、ソブリンデフォルトが発生した場合、通常は他の債権者に優先して当行に返済することを意味する。つまり、PCSでは、デフォルト発生時のAfDB の格付けが他の債権者を上回っていることになる。格付け機関は、国際開発金融機関(MDB)の評価にこの特別な方法を採用している。

民間セクターのエクスポージャーでは、PCS には異なるメリットがある。ソブリンによって外貨の普及が制限される場合、格付け機関は MDBへの返済には当該制限は適用されないものと見なすため、送金及び換算リスクがかなり軽減される。例えば、ある国の債務がデフォルト又はデフォルト寸前の場合、民間セクターは外貨の使用が制限される可能性があるが、当行への返済に外貨を使用する場合にはこの制限は適用されない。

AfDBの不良債権とは？

不良債権(NPL)の合計は2.4%（2016年は3.7%）

ノンソブリン融資（単位：千米ドル）

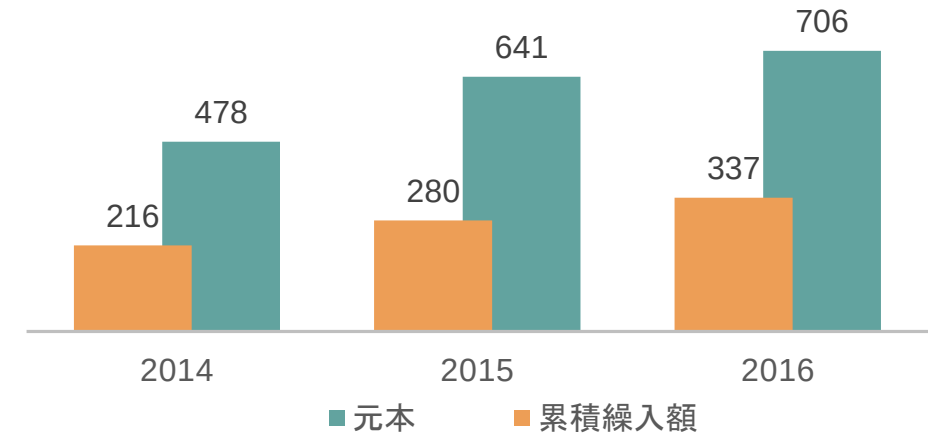
セクター	未払い元本	元本の減損	減損率
鉱業	135,864	67,932	50%
航空輸送/空港	74,230	44,538	60%
金融－開発銀行業務	17,506	4,000	20%
金融－開発銀行業務	10,868	2,484	20%
農業	7,760	7,760	100%
金融－商業銀行業務	7,500	7,500	100%
金融	3,281	2,064	100%
民間セクター計	257,009	136,686	
未払いのノンソブリン融資合計	5,567,952		
ノンソブリンNPL	4.62%		

ソブリン融資（単位：千米ドル）

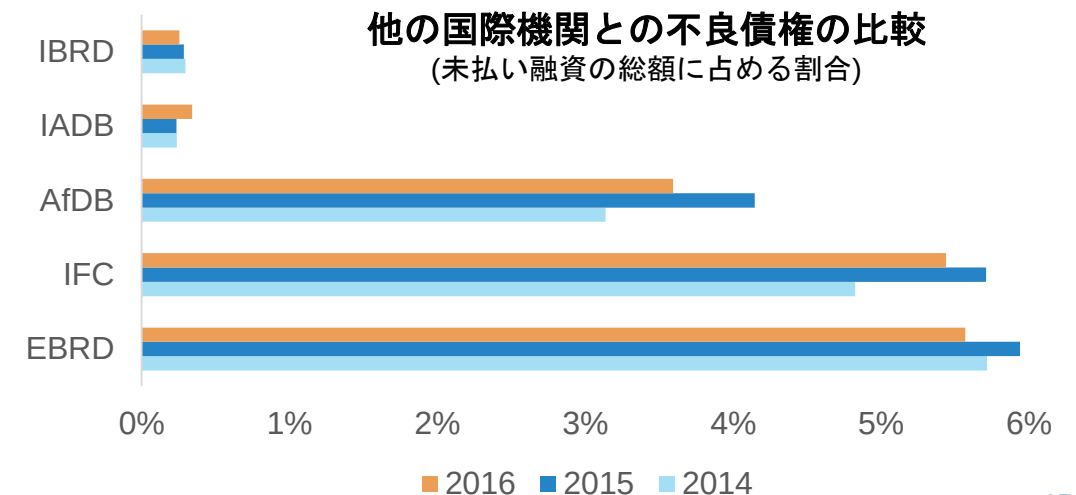
セクター	未払い元本	元本の減損	減損率
ジンバブエ	273,747	89,439	33%
スーダン	75,817	25,496	34%
ソマリア	8,679	4,738	55%
公共部門計	355,650	118,283	
未払いのソブリン融資合計	19,812,553		
ソブリンNPL	1.80%		

(2017年12月31日現在)

引当金の繰入傾向 (単位：百万米ドル)



他の国際機関との不良債権の比較 (未払い融資の総額に占める割合)



ソース：Moody's Investors Service

債務償却に関するポリシーとは？

AfDBはこれまで、ソブリン保証付融資を債務償却したことはない。経験上、異常な騒乱又は事象の場合に国はデフォルトする。平和と安定が戻ると、国はAfDBとの関係を再構築し、滞納金を返済するか、通常は滞納金を完済するためにドナー国から援助を受けることになる。

元本、利息又はその他の手数料の支払いが30日遅滞した場合、すべての滞納金が清算されるまで、当該加盟国又は当該国の公共部門である借り手に対する新たな融資について理事会の承認を得るための手続きは行わず、既に承認されている融資も実行しないのがAfDBのポリシーである。さらにかかる国については、すべての未払金が支払われるまでは当該加盟国に対する全ての融資又は当該加盟国が保証する全ての融資の実行は停止される。

AfDBは優先債権者の地位(PCS)のメリットの恩恵を受けており、かつ、不履行ソブリン債務者へのエクスポージャーを厳しく監視しているものの、AfDBに対する適時債務返済が難しい国もあった。既に説明したように、AfDBは、ポートフォリオにおける損失の評価と同等のソブリン融資ポートフォリオに係る減損に対して引当金を繰り入れる。

ノンソブリン融資では債務償却が発生する可能性はあるが、ノンソブリン融資は当行の営業純利益(NOI) から貸し付けた融資である。現在まで、ノンソブリン融資の高額な債務償却を実施したことはない。

AfDBでは、国際財務報告基準(IFRS)に従って正常履行のノンソブリンポートフォリオにおける予想損失を補てんするために一般引当金を繰り入れない。不履行ポートフォリオに関しては、AfDBは各融資に関する信用減損又は発生損失の評価に基づいて特定貸倒引当金を繰り入れる。

脆弱な状態とは？

「制度崩壊、社会崩壊又は暴力的衝突のリスクが高まっている状態」と定義することができる脆弱性の影響を受けない国はない。脆弱性を評価する国際的に合意された枠組みや一連の指標がない中、運用上の目的及び新たな戦略に沿って、AfDBは国及び地域をその脆弱性の程度で分類している。

カテゴリー1

- ・ 国際開発銀行間で調和して作成された脆弱な状態の一覧。的を絞った質的な脆弱性評価。領土内での武力衝突。暴力的な政治的・社会的反乱。
- ・ 例えば、アフリカ大湖沼及び中部アフリカ地域、アフリカの角、マノ川同盟

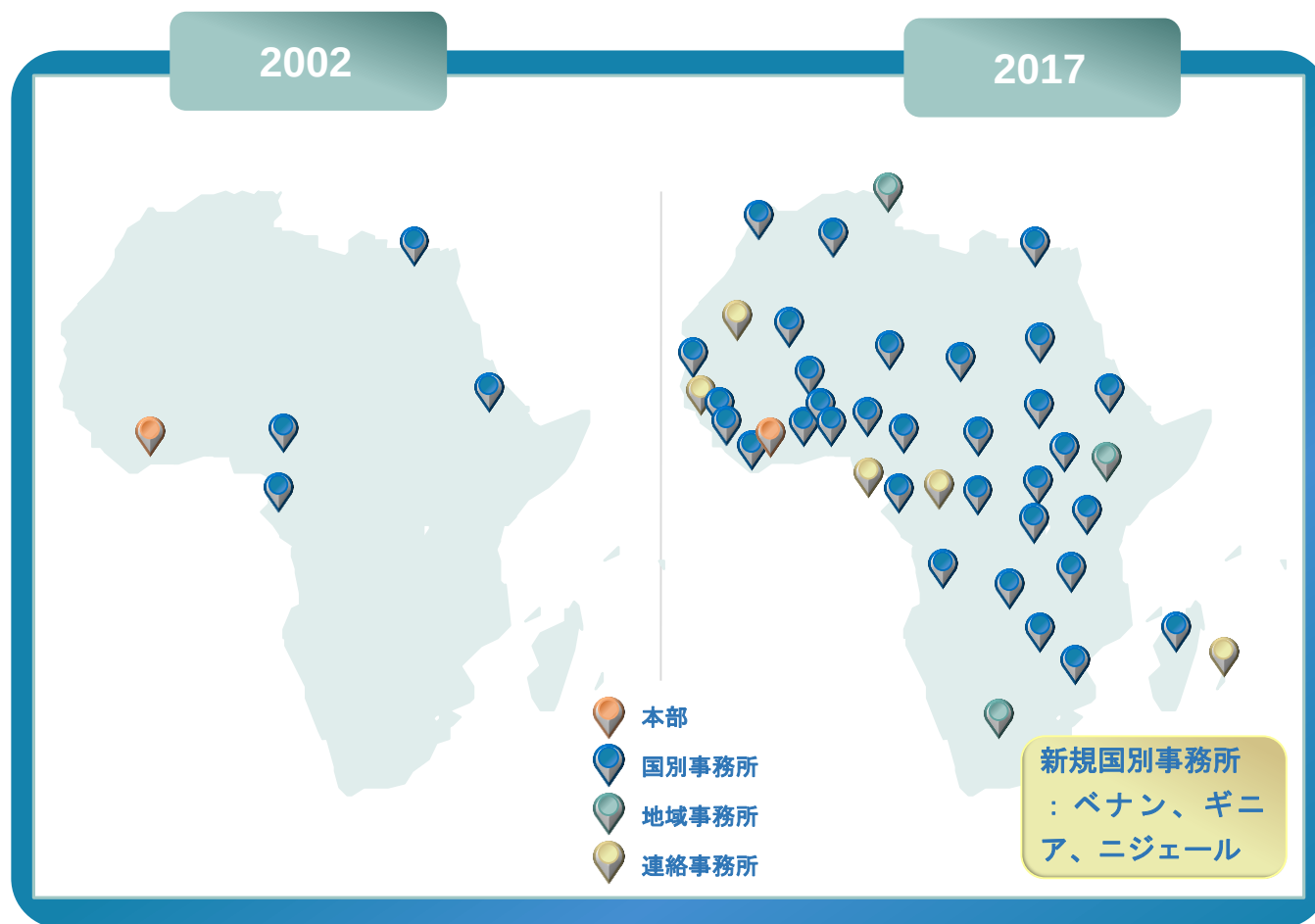
カテゴリー2

- ・ 近隣の衝突の飛び火リスクがある。ガバナンス問題が増加傾向及び／又は突発的に発生。社会・政治不安が持続するリスクが高い。
- ・ 政策・制度運営の低下傾向及び／又は脆弱性の重要な非政治的要因の存在。

カテゴリー3

- ・ 暴力又は社会崩壊のリスクが相対的に低い。正当・包括的な枠組み内で課題を解決できる社会・政治制度の能力が相対的に高い。

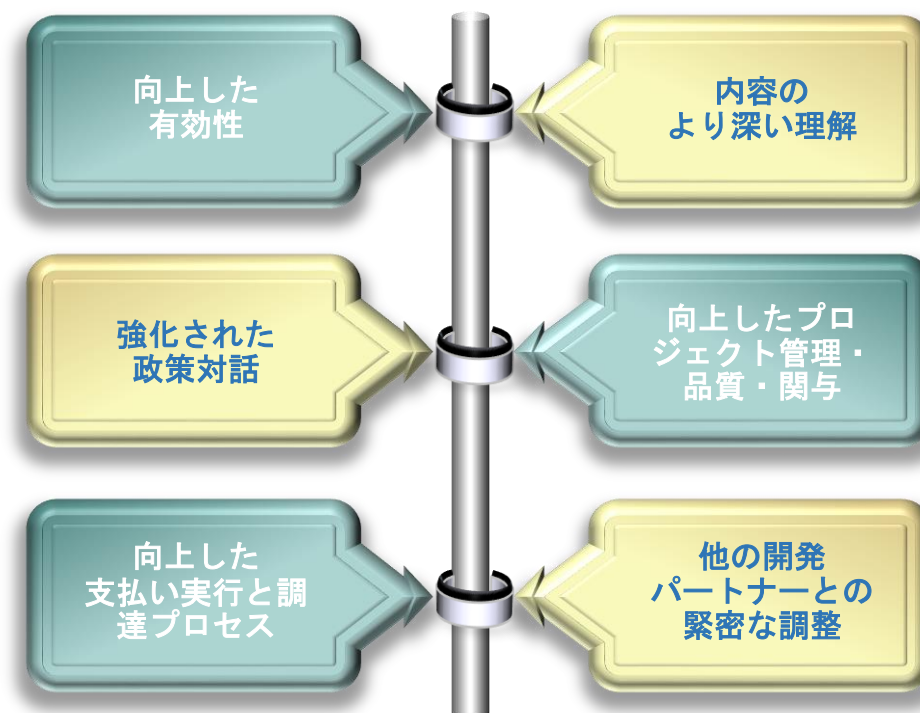
アフリカにおける現場でのプレゼンスは？



41カ国に確固たるプレゼンス。脆弱国にも拡大。

- AfDB職員の39%が現地事務所に勤務
- プロジェクトの76%がこれら現地事務所の管理

各国独自のニーズ特定に
理想的な立場



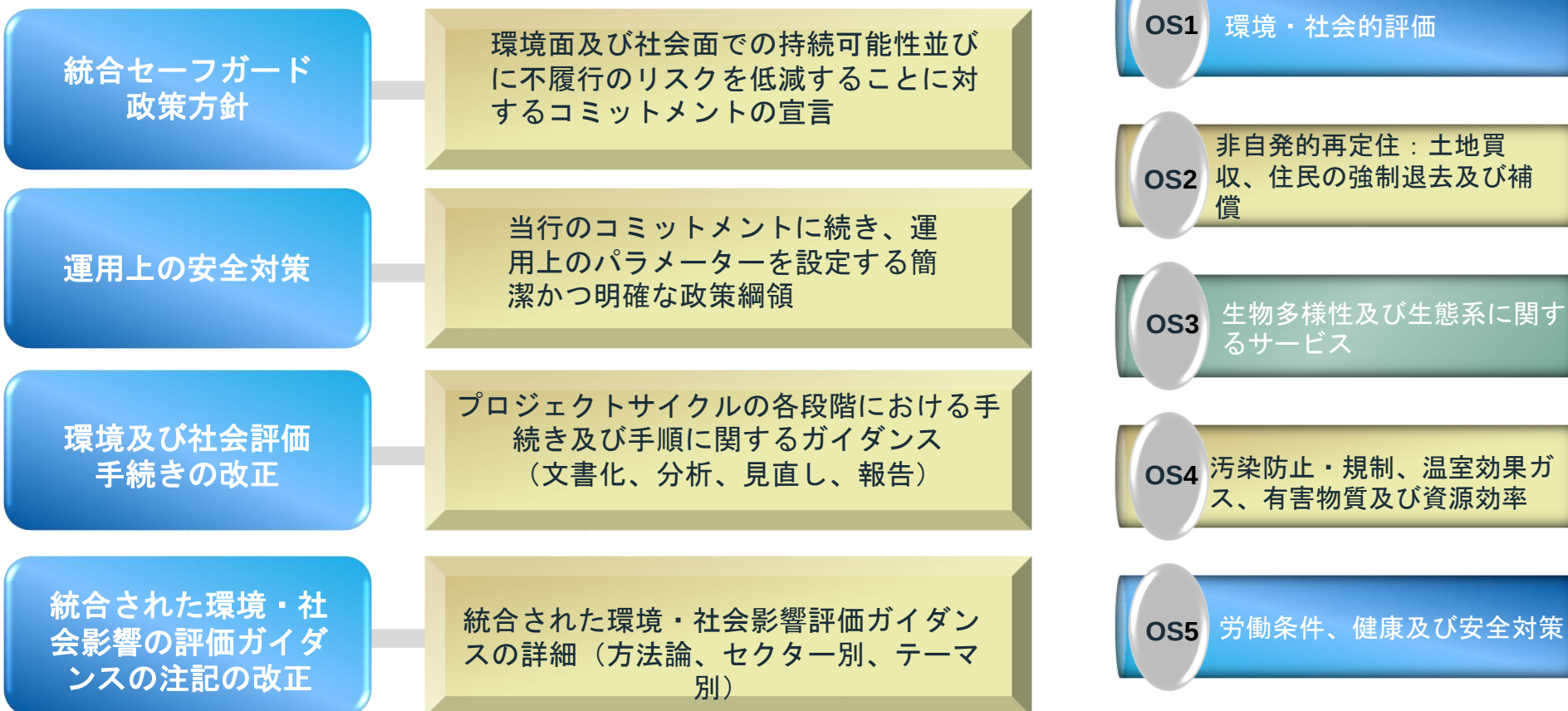
AfDBの統合セーフガードシステムとは？

社会的包摂性及び環境面での持続可能性を備えた成長を促進する
AfDBの戦略の基盤

リスクの特定、開発コストの削減及びプロジェクトの持続可能性の向上のためのツールとしてのセーフガード

プロジェクトレベルの苦情処理メカニズムを通じて透明性及びアカウンタビリティの向上を奨励

統合セーフガードシステムの構造



倫理的なビジネスプラクティスとは？

- グッド・ガバナンス、倫理的なビジネスプラクティスの推進、並びに当行の事業に適用される汚職防止及び透明性に関する国際基準の承認に尽力。
- 2006年に他の国際開発銀行と共に「不正・汚職の防止及び撲滅に関する統一的枠組み（Uniform Framework for Preventing and Combating Fraud and Corruption）」を採択。これは国際銀行が融資する事業の開発効果を上げるために汚職と不正を抑制するための調和された戦略である。
- 組織の株主に対する受託者責任及び法的責任に基づき、経済、効率性及び競争的取引を考慮して、ソブリン保証を得ずに融資された民間セクターの事業及びその他の事業に関して**誠実性**デュー・デリジェンス（IDD）を策定。

誠実性デュー・デリジェンス(IDD)に関する指針原則

受益所有者の特定：
受益所有者の身元が確認できるまで取引は進めない

民事上、刑事上及び規制上のバックグラウンドの評価：誠実性リスクに関連してカウンターパーティー及び重要な関連当事者の刑事上、民事上及び規制上のバックグラウンドを厳密に評価すること

制裁措置を受けた人物及び事業体：カウンターパーティー、重要な関連当事者又はその受益者のいずれかがAfDBグループから、排除又は受注資格を停止されているプロジェクトには融資しない

重要な公的地位を有する者（PEP）及びその他の高いリスクを伴う関係：プロジェクトにPEPが関与する場合、標準的なIDD措置に加えて強化されたIDDを実施すること

誠実性リスク*の緩和：
IDDプロセスの根本的な目的は、誠実性リスクの特定及び緩和にあるべきである

誠実性リスクの監視及び特別条項の執行：誠実性リスクの初期兆候及び指標を特定するために、プロジェクトサイクルを通してプロジェクトを効果的に監視すること

記録管理：IDDプロセスに含まれるすべての書類及びそのプロセスを通じてとられた措置に関する適切かつ信頼性のある記録を残すこと

* 誠実性リスクとは、プロジェクト及び投資判断における非倫理的行為に起因する悪影響を含む財務上及び非財務上の損失が生じる可能性をいう。

採取産業透明性イニシアティブとは？

採取産業透明性イニシアティブ（EITI）は、採取産業において透明性の強化によりガバナンスを促進することを目的とする。石油、ガス、金属及び鉱物などの天然資源は国民の所有物であり、これらの資源の採取は経済成長及び社会発展につながる可能性がある。しかしながら、不十分な管理の下で行われたために、汚職や紛争までもを頻繁に招いてきた。国民全てが資源の恩恵を受けるためには、国による天然資源の管理法の開示性向上が求められる。

石油・ガス及び鉱業会社から政府に支払われた税金等が全て開示されるよう、諸国はEITI基準を実施する。これらの支払はEITI年次報告書で開示され、この報告書により、政府が自国の天然資源から得ている額を国民は自身の目で確認できる。

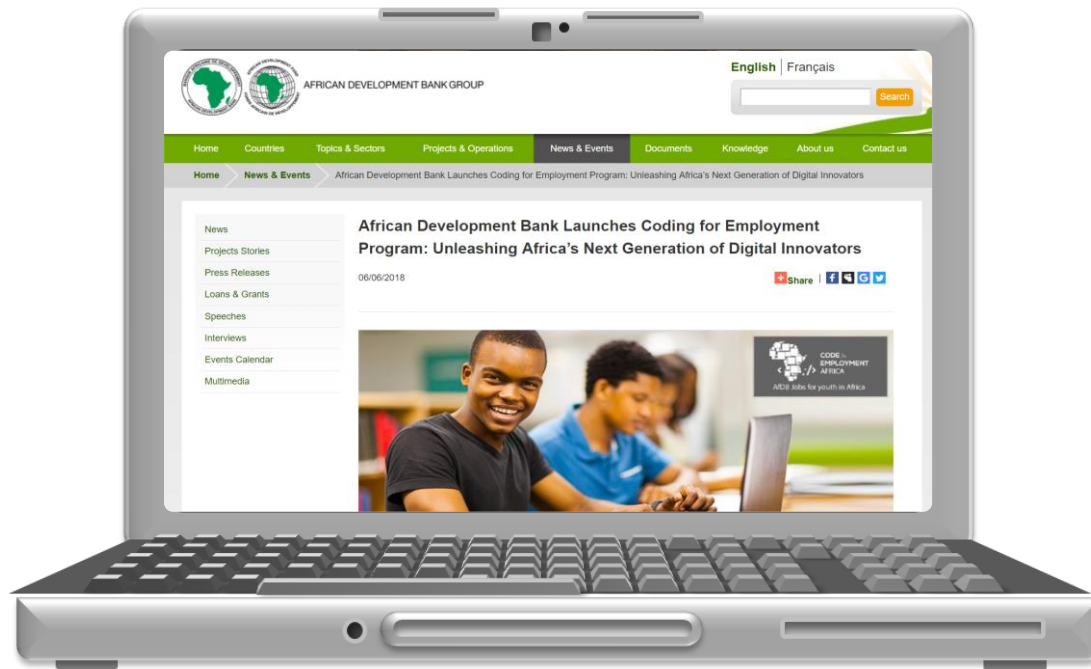
EITIは、様々なステークホルダーに多数のメリットをもたらす。EITI実施国にもたらされるメリットの一つに、政府が透明性の向上に尽力しているという明確なメッセージを投資家や国際金融機関に示すことで投資環境が改善することが挙げられる。EITIはまた、説明責任及びグッド・ガバナンスの強化と政治・経済の安定性向上にも資するため、ひいては石油、鉱業及びガスセクターに基づく紛争の防止にも貢献しうる。

企業及び投資家にもたらされるメリットは、政治的リスクと風評リスクの緩和が中心となる。不透明なガバナンスによる政治不安は、投資にとって確実な脅威である。採取産業は投資が資本集約的でかつ収益化するには長期的安定が不可欠なため、かかる政治不安を軽減することは事業にとっても有益である。政府への支払に関する透明性はまた、投資が国に貢献していることの実証にも資する。

市民社会にもたらされるメリットは、政府が国民を代表して管理する歳入に関して公開情報量が増え、よって政府の説明責任が向上することである。

AfDBは、そのセクター事業にEITI原則を組み込む取り組みを行っている。域内加盟国にEITIプロセスへの参加を促し、適用可能な国に技術的・財政的援助を行うことで、採取産業における慣行の健全化と持続可能な開発のための天然資源の活用とを支援している。現在までに、中央アフリカ共和国、リベリア及びマダガスカルがEITI候補国になることに貢献し、このイニシアティブの支持及び実行に関してリベリア、シエラレオネ、チャド、トーゴ、ギニアのコナクリ及びマダガスカルなど様々なアフリカ諸国を支援している。

AfDBグループに関する詳細な情報



財務および経営分析

債務プログラム資料

格付け機関のレポート

借入国向けの金融商品

年次報告書



afdb_acc



African
Development
Bank Group



AfDB_Group



www.afdb.org



連絡先 :
FundingDesk@afdb.org



(225) 20 26 39 00
(225) 20 26 29 06